

# SHARP®

## 取扱説明書

液晶カラーテレビ

形 名

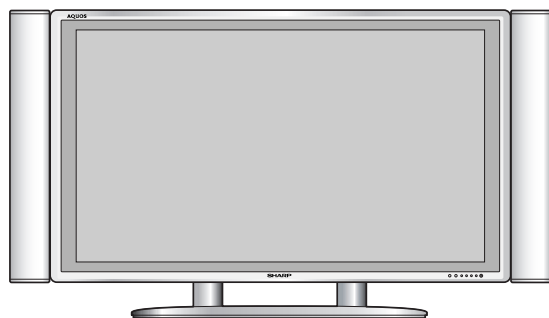
エル シー ジー イー  
**LC-57GE2**

### 1. 準備編

はじめにお読みください。  
操作については別冊の取扱説明書

**2. 操作編** をご覧ください。

# AQUOS



## 接続クイックガイド はじめにお読みください

### はじめに

本機の付属品、本機各部のなまえやリモコンの準備のしかたについて説明しています。

### 設置

本機の設置のしかたと手順について説明しています。

### 接続

アンテナ、電話線、電源コード、外部機器の接続について説明しています。

### 設定

チャンネル設定のしかたやデジタル放送を視聴するための設定について説明しています。

### 索引

本機各部のなまえや画面に表示されることばから説明ページを検索することができます。

**HDMI**  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

VIRTUAL  
DOLBY  
SURROUND  
EXPERIMENTAL

**BBE**  
Mach3Bass  
DIGITAL

**地上**  
DIGITAL

**1bit**  
Technology

**BS**  
DIGITAL

**110°**  
DIGITAL

**GR** GHOST  
REDUCTION

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

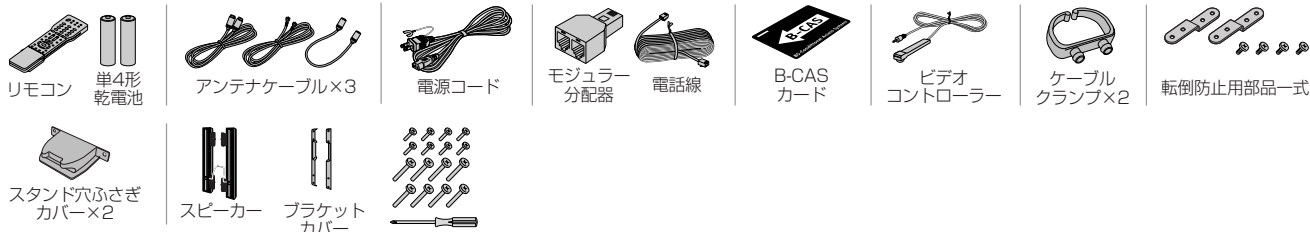
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」( **2. 操作編** 13ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

# 接続とチャンネル設定の手順

詳しくはそれぞれの参照ページをご覧ください

## 1 付属品を確認する (7 ページ)



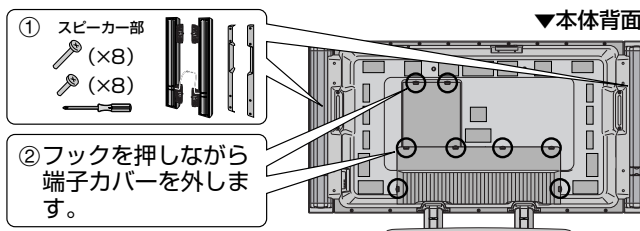
## 2 リモコンに乾電池を入れる (12 ページ)

リモコン裏側のカバーを開け、付属の単4形乾電池を⊕⊖の表示どおりに入れます。



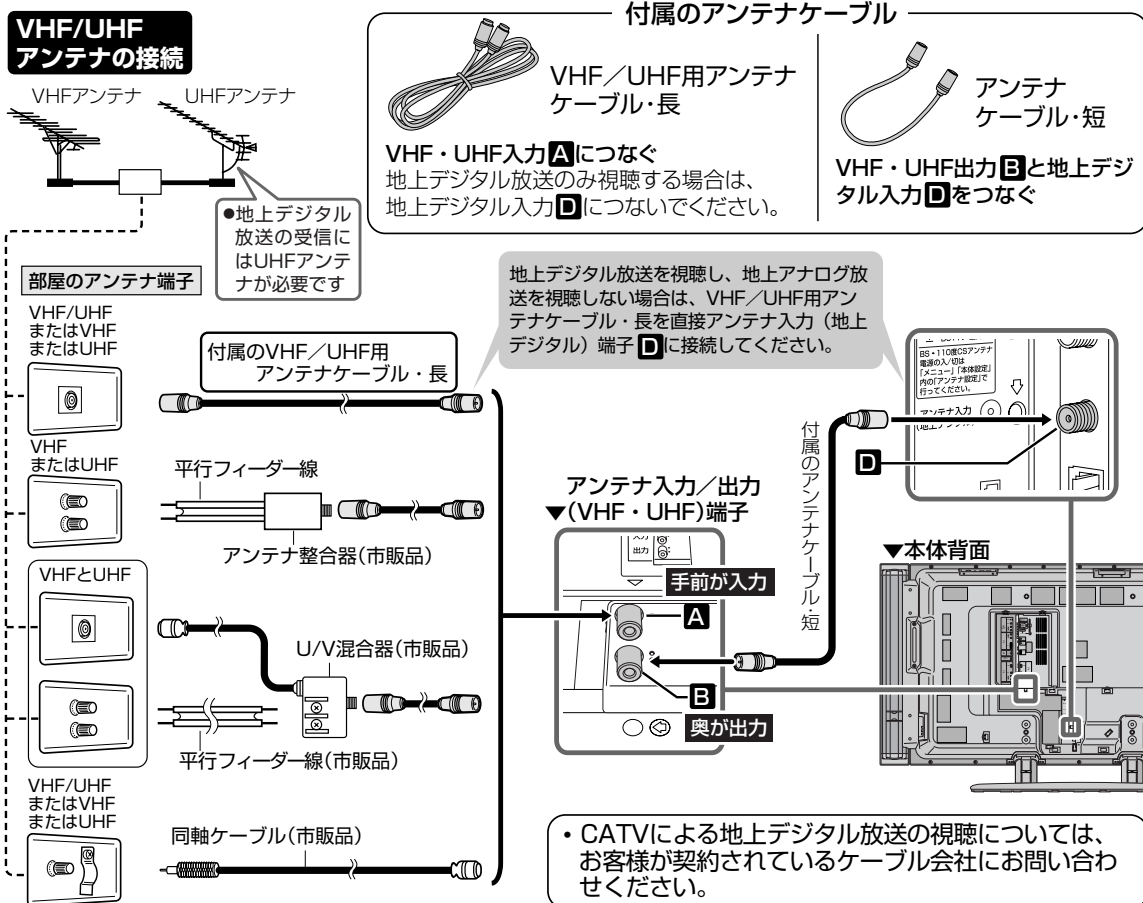
## 3 スピーカーを取り付ける (12・13 ページ)

- ① スピーカーを取り付けます。(13 ページ)
- ② アンテナケーブルなどを取り付けるため、端子カバーを外します。端子カバーのフックを押しながら手前に引いて外します。



## 4 アンテナケーブルをつなぐ (18・19 ページ)

付属のアンテナケーブルをアンテナ入力/出力(VHF・UHF)端子・アンテナ入力(地上デジタル)端子・アンテナ入力(BS・110度CS)端子につなぎます。



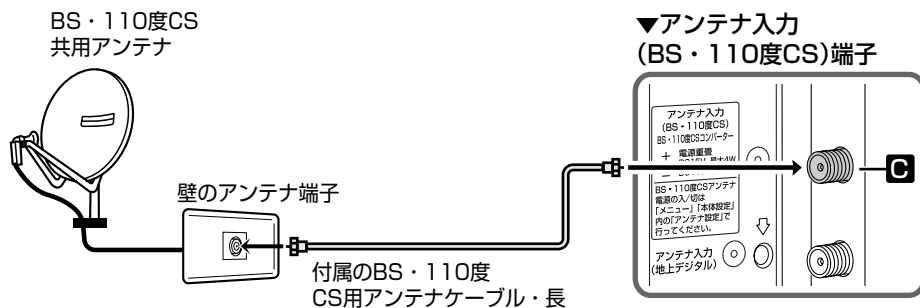


付属品を本機に取り付けて接続し、放送が受信できるまでの手順を1つ1つ本文の説明に沿っておすすみください。

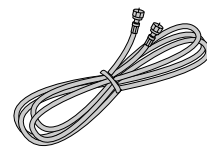
## BS・110度CS 共用アンテナの接続

### BS・110度CS共用アンテナを単独で接続するとき

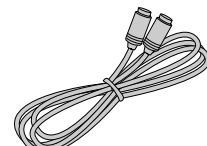
付属のBS・110度CS用アンテナケーブル・長を本体背面端子部のアンテナ入力 (BS・110度CS) 端子と壁のアンテナ端子に接続します。



#### 付属のアンテナケーブル



BS・110度CS用  
アンテナケーブル・長  
BS・110度CS入力  
Cにつなぐ

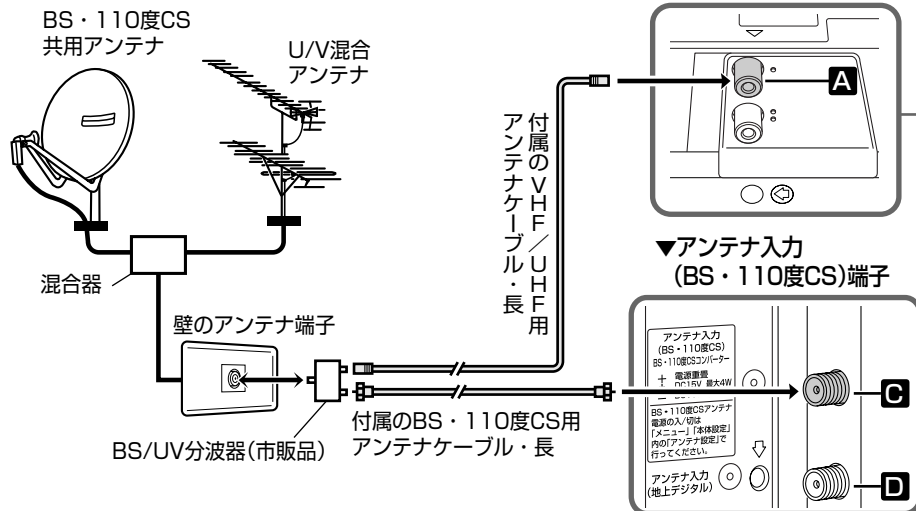


VHF/UHF用アン  
テナケーブル・長

VHF・UHF入力A  
につなぐ  
地上デジタル放送のみ  
視聴する場合は、地上  
デジタル入力Dにつ  
ないでください。

### マンションなど、共聴システムで接続するとき (BS・110度CSとVHF/UHFが混合されているとき)

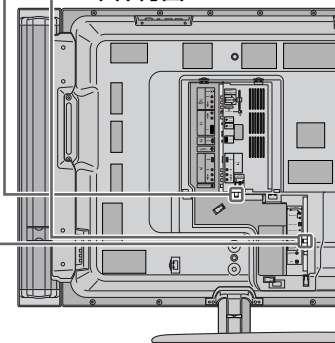
BS/UV分波器 (市販品) を使用して接続します。



- BS/UV分波器・分配器は金属シールドタイプで110度CS帯域(2150MHz)まで対応したものをご使用ください。

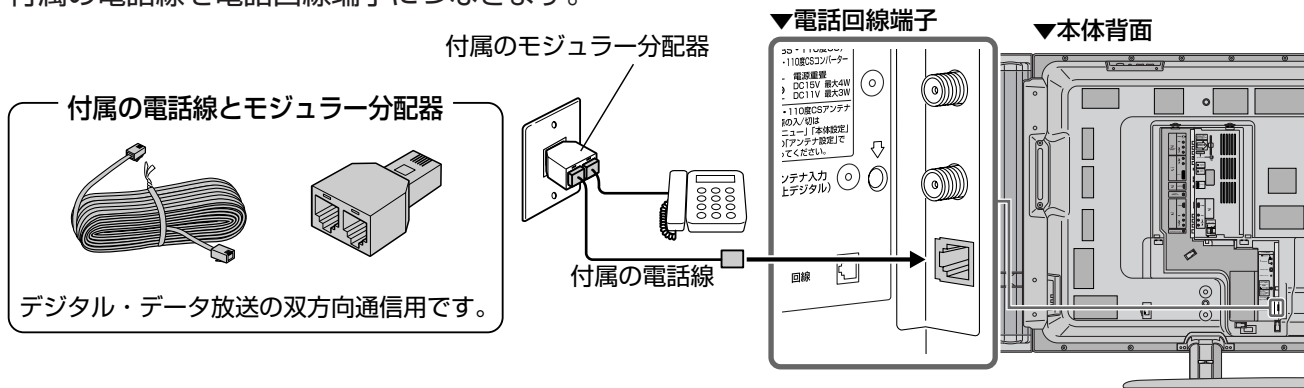


#### ▼本体背面



## 5 電話線をつなぐ (20 ページ)

付属の電話線を電話回線端子につなぎます。



デジタル・データ放送の双方向通信用です。

# 接続とチャンネル設定の手順(つづき)

## 6 ビデオやDVDプレーヤーなどの外部機器をつなぐときは(22ページ)

入力4/モニター出力/録画出力※  
録画用出力にも切り換えて使える入力・出力兼用端子です。

入力6 (DVI)  
DVI端子付きの機器に対応した端子です。

入力5 (HDMI)  
HDMI端子付きの機器に対応した端子です。

入力1・入力2  
DVDなど高画質の入力に対応した端子です。

▼入力1・2・4・5・6端子部

▼本体背面

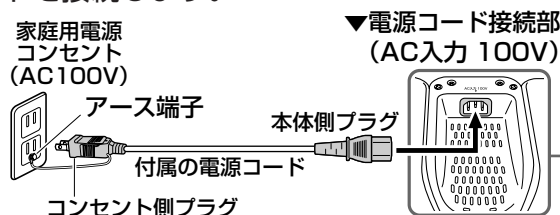
入力3  
ビデオカメラなどを一時的につなぐのに便利な端子です。

▼入力3端子部

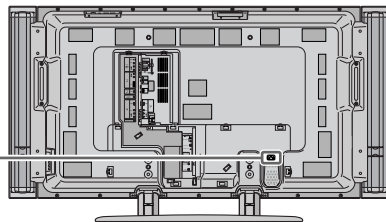
※ 設定を変更するときは、「入力4端子の設定」(2.操作編 128ページ)をご覧ください。

## 7 電源コードをつなぐ (24 ページ)

付属の電源コードで、本体の「AC 入力 100V」端子と家庭用電源コンセントを接続します。

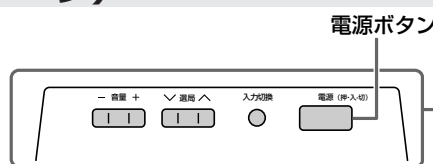


▼本体背面

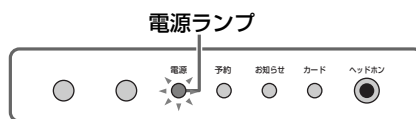
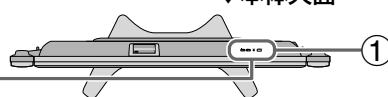


## 8 電源を入れる (25 ページ)

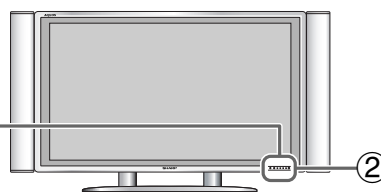
- ① 本体天面の電源ボタンを押します。
- ② 本体前面下部の電源ランプが緑色に点灯することを確認します。



▼本体天面



▼本体前面



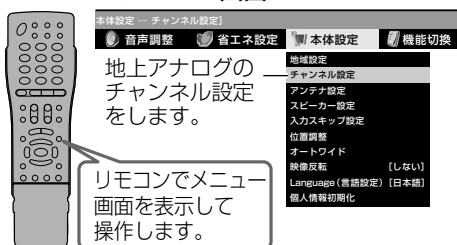
## 9 地上アナログ放送のチャンネルを設定する (26～41 ページ)

リモコンでメニュー画面を表示し、地上アナログ放送のチャンネル設定をします。

自動設定のしかた

- ① **地上**を押し、地上アナログ放送を選ぶ
- ② **メニュー**を押し、メニュー画面を表示する
- ③ **設定**で「本体設定」を選ぶ
- ④ **チャンネル**で「チャンネル設定」を選び、**決定**を押す
- ⑤ **地上アナログ**を選び、**決定**を押す
- ⑥ **地上アナログ自動**を選び、**決定**を押す
- ⑦ **する**を選び、**決定**を押す
- ⑧ 自動設定画面を確認する

▼メニュー画面

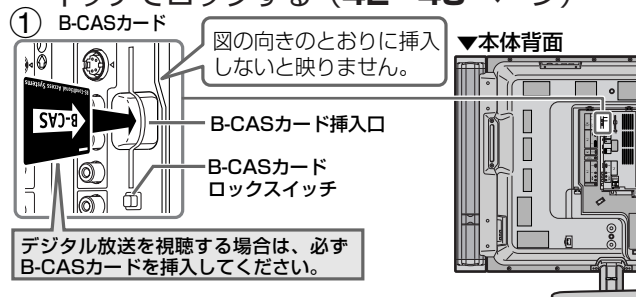


## 10 地上デジタル放送のチャンネルを設定する (42～53 ページ)

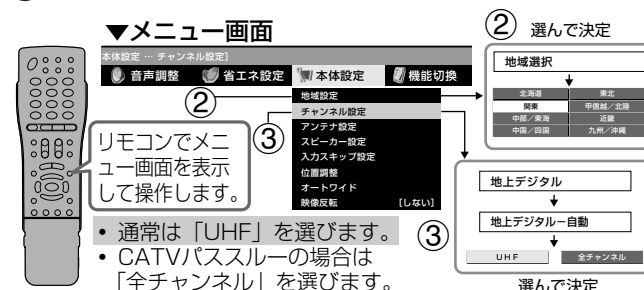
地上デジタル放送の受信設定をするときは、次の手順 ①～③ に従い行います。

※地上デジタル放送はお住まいの地域で放送が開始されていないと受信できません。

- ① 付属のB-CASカードを挿入し、ロックス  
イッチでロックする (42・43 ページ)



- ② 地域設定をする (44 ページ)  
③ 地上デジタルチャンネル設定をする (46 ページ)

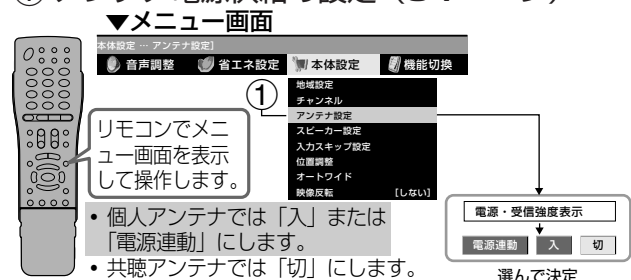


## 11 デジタル放送を視聴するための設定をする (54 ページ)

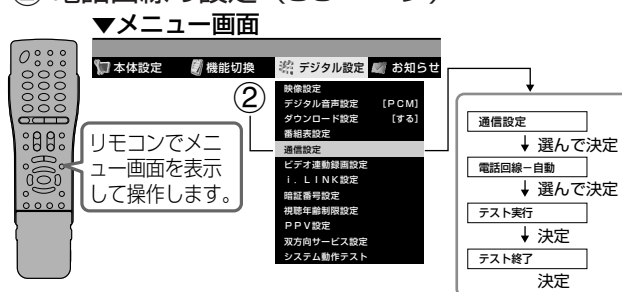
「デジタル放送を視聴するための設定をする」の説明にそって以下の設定をします。

※ B-CAS カードを挿入しておいてください。入っていないとデジタル放送が受信できません。(42・43 ページ)

- ① アンテナ電源供給の設定 (54 ページ)



- ② 電話回線の設定 (56 ページ)



## 地上アナログ放送・デジタル放送の受信状態を確認する

こんな症状がでるときは

### ■地上アナログ放送

こんなときには	ここをお確かめください	ページ
色じま模様が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>付属のアンテナケーブルを使用していますか。</li> <li>古いケーブルを使わないでください。</li> </ul>	7・18 —
雪のふるような画面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行フィーダー線の場合、できるだけ離してみてください。</li> <li>アンテナ線が切れていませんか。アンテナの向きは正しいですか。</li> </ul>	18 —

### ■デジタル放送

こんなときには	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「BS・CS アンテナ電源」は正しく設定されていますか。</li> <li>B-CAS カードは挿入していますか。</li> </ul>	19・54 42・43
画面に四角のモザイクが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナの向きは正しいですか。</li> <li>アンテナの信号強度を確認してください。</li> <li>アンテナの前方に障害物はありませんか。</li> </ul>	— 54 —
WOWOWやスターチャンネルが視聴できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>有料放送は視聴契約が必要です。</li> <li>電話回線は正しく接続、設定されていますか。</li> </ul>	— 20・56
110度CSデジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナやケーブル、分配器は指定のものを使用していますか。</li> </ul>	19
画面にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>UHF/VHF 用アンテナケーブルと BS・110度CS 用アンテナケーブルが接近していませんか。</li> </ul>	—
特定のチャンネルが映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>有料放送は視聴契約が必要です。</li> <li>アンテナの信号強度を確認してください。</li> </ul>	— 54

# もくじ

## はじめに 7～12 ページ

■ 付属品 .....	7
■ 各部のなまえ〈本体〉 .....	8
■ 各部のなまえ〈リモコン〉 .....	10
チャンネルの基本的な選びかた .....	11
■ リモコンに乾電池を入れる .....	12
乾電池の入れかた .....	12
■ 端子カバーの外しかた .....	12

## 設 置 13～17 ページ

■ 設置のしかた .....	13
1. スピーカーを取り付ける .....	13
2. 置く場所を決める .....	14
3. 製品を設置する .....	14
4. 転倒防止策を実施する .....	15
別売品を使って設置する場合 .....	17

## 接 続 18～25 ページ

■ アンテナをつなぐ .....	18
VHF/UHFアンテナの接続 .....	18
BS・110度CS共用アンテナの接続 .....	19
■ 電話線をつなぐ .....	20
電話回線に接続する .....	20
■ ビデオやDVDプレーヤー などをつなぐ .....	22
ビデオ機器の接続のしかた .....	22
DVDプレーヤーなどの接続のしかた .....	23
■ 電源コードをつなぐ .....	24
■ ケーブル処理のしかた .....	24
■ 電源を入れる .....	25

## 設 定 26～60 ページ

■ 地上アナログ放送のチャンネルを 設定する .....	26
自動設定 .....	27
地域番号設定 .....	28
地域番号早見表 .....	30
地域番号一覧表 .....	32
追加設定 .....	36
個別設定 .....	37
視聴しないチャンネルをスキップする .....	38
CATVチャンネルを設定する .....	38
画面のチャンネル表示を変える .....	39
受信状態を微調整する .....	40
チャンネル設定に関する用語 .....	41
■ B-CASカードについて .....	42
B-CASカードおよびコピー制御信号についてのお知らせ .....	42
B-CASカードを入れる .....	43
■ 地域設定をする .....	44
地域と郵便番号を設定する .....	44
■ 地上デジタル放送のチャンネルを 設定する .....	46
地上デジタル放送のチャンネル設定について .....	46
自動登録 .....	47
追加登録 .....	48
登録先の数字ボタンを変更する .....	50
枝番を変更する .....	52
視聴しないチャンネルをスキップする .....	53
■ デジタル放送を視聴するための 設定をする .....	54
アンテナ設定 .....	54
電話回線の設定 .....	56
電話会社設定 .....	58
BS/CSデジタルのチャンネルスキップ設定 .....	60

## 情報ページ 61 ページ

■ 本機で使用している特許など ..	61
■ 索引 .....	61

### ご注意

お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


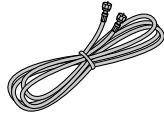
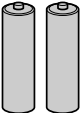
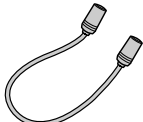
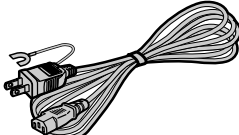
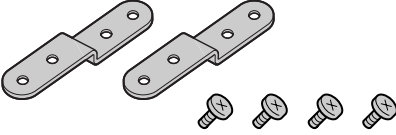
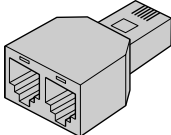
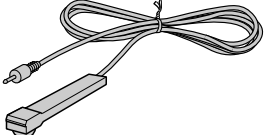
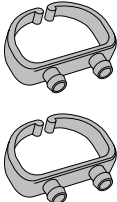
● 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去(初期化)をお願いします。(2.操作編 96ページ)

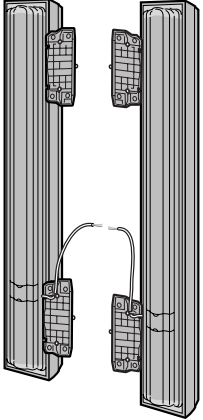
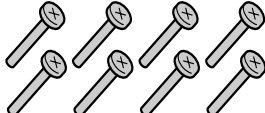
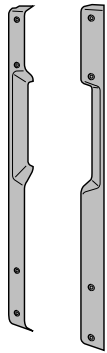
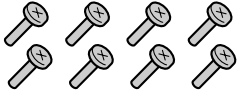

※ 本取扱説明書に掲載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

# 付属品

## 付属品をご確認ください

**ご注意** B-CASカードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

<p>リモコン×1</p>  <p>使いかた→10～12ページ</p>	<p>VHF/UHF用アンテナケーブル・長(4m)×1 (差し込みタイプ)</p>  <p>使いかた→18ページ</p>	<p>BS・110度CS用アンテナケーブル・長(4m)×1 (先端金属ネジ止めタイプ)</p>  <p>使いかた→19ページ</p>
<p>単4形乾電池×2</p>  <p>使いかた→2・12ページ</p>	<p>アンテナケーブル・短(35cm)×1</p>  <p>使いかた→2・18ページ</p>	<p>電源コード(4m)×1</p>  <p>使いかた→4・24ページ</p>
<p>転倒防止用部品一式 (固定バンド×2、ネジ×4)</p>  <p>使いかた→15～17ページ</p>		
<p>モジュラー分配器×1</p>  <p>使いかた→3・20ページ</p>	<p>ビデオコントローラー(1.8m)×1</p>  <p>使いかた→2.操作編 130ページ</p>	<p>ケーブルクランプ×2</p>  <p>使いかた→24ページ</p>
<p>●取扱説明書(準備編・操作編)×各1 ●保証書×1</p>		

<p>スピーカー部 スピーカー (右) (左)</p> 
<p>スピーカー取付けネジ (×8)(長い方)</p>  <p>ブラケットカバー (右) (左)</p> 
<p>ブラケットカバー取付けネジ (×8)(短い方)</p>  <p>スピーカー取付け用 ドライバー×1</p>  <p>使いかた→13ページ</p>

はじめに

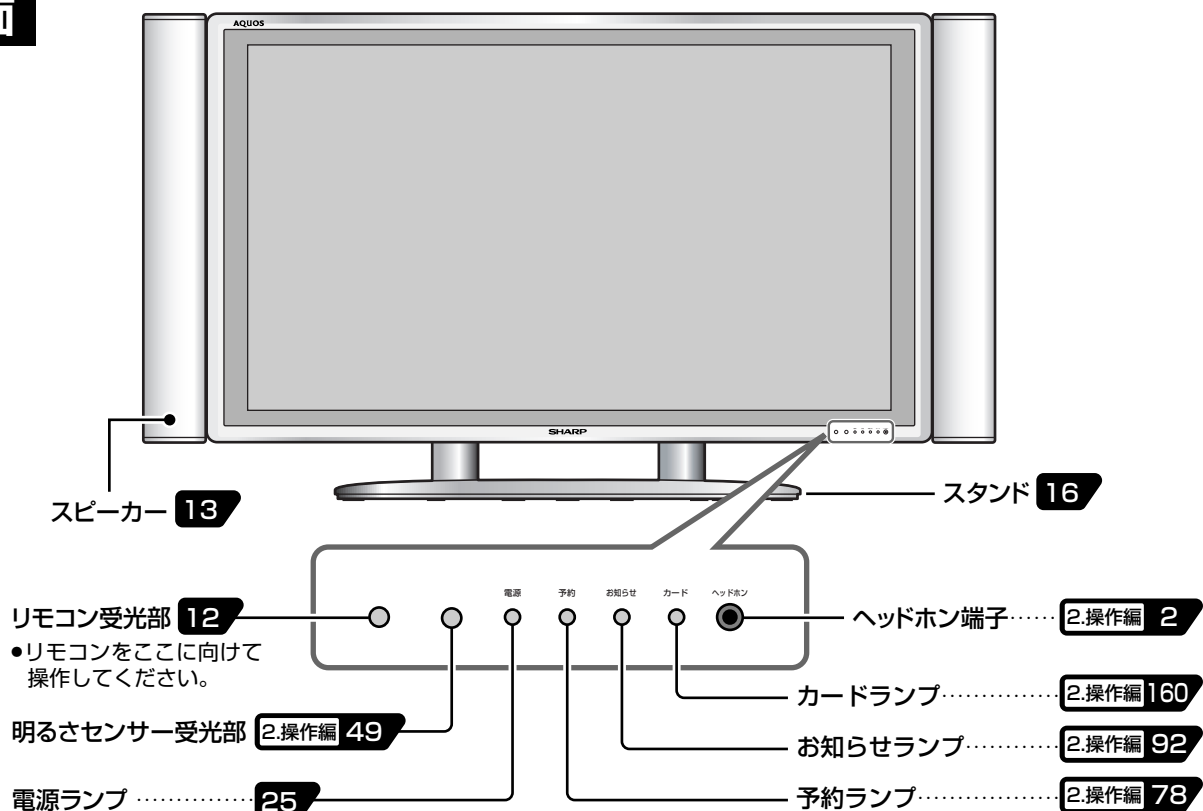
もくじ

●安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

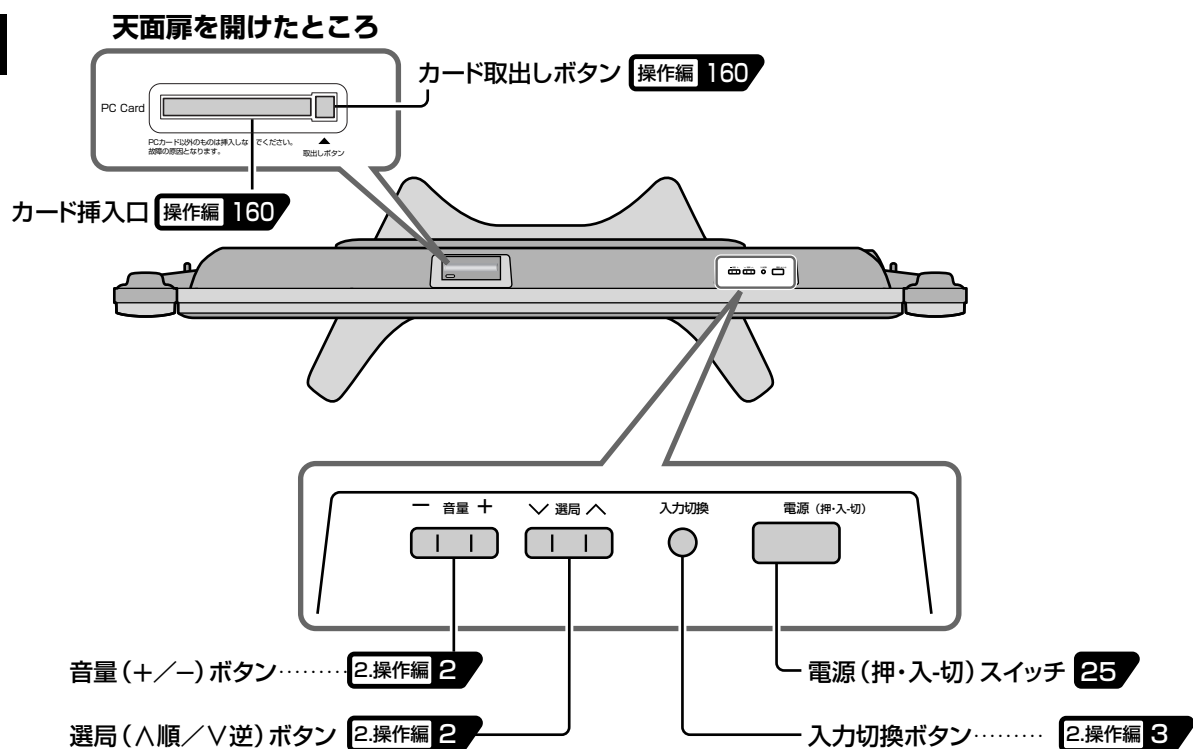
# 各部のなまえ〈本体〉

の中の数字は、説明や操作方法を掲載しているおもなページです。

## 前面



## 天面



## 背面

※端子カバーの外しかたについては、12ページ「端子カバーの外しかた」をご覧ください。

録画用機器をつなぐ(入力4)

入力4/モニター出力/録画出力 ..... 2.操作編 122~128

B-CASカードを  
挿入する

B-CASカード  
挿入口 ..... 43

B-CASカードを  
ロックする

B-CASカード  
ロックスイッチ ..... 43

デジタルリセット  
ボタン ..... 2.操作編 186

テレビリセット  
ボタン ..... 2.操作編 186

入力6 (DVI-I)  
..... 2.操作編 118

コントロール (RS-232C)  
端子 ..... 2.操作編 154

入力5 (HDMI)  
..... 2.操作編 115

デジタル音声出力(光)  
端子 ..... 2.操作編 142

入力1・2 ..... 23

高画質対応のビデオや  
DVDプレーヤーをつなぐ

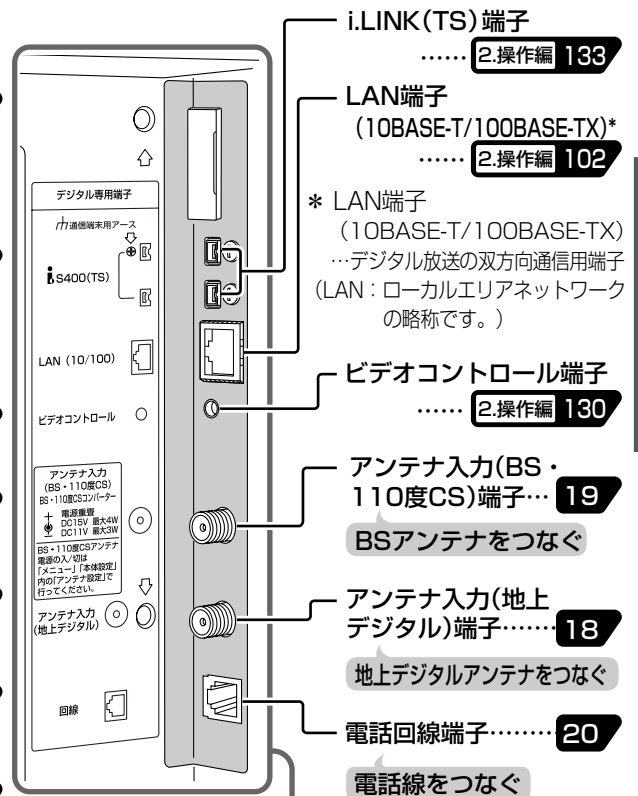
センタースピーカー入力  
端子 ..... 2.操作編 148

### ハイビジョン画質で 録画したいとき

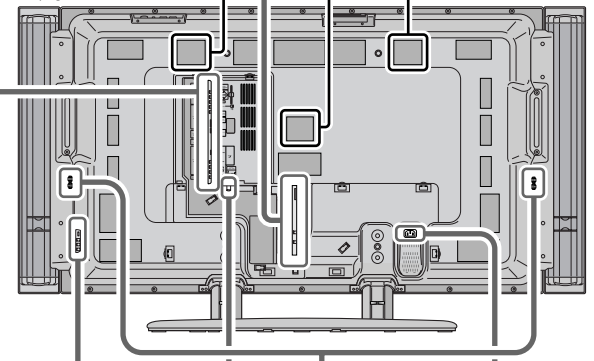
●モニター出力/録画出力  
の映像は標準画質です。  
ハイビジョン画質をその  
まま録画したいときは、  
i.LINK端子にD-VHSビ  
デオデッキ、AV-HDD  
レコーダー、Blu-ray  
Discレコーダーのいず  
れかを接続します。

入力3 22  
2.操作編 124

ビデオカメラなどをつなぐ



### ▼端子カバーを 外したところ



はじめに

各部のなまえ(本体)

# 各部のなまえ〈リモコン〉

## フタを開じたところ

### 画面表示……………2.操作編 3

画面表示(チャンネルサインなど)を入／切します。

### 電源……………2.操作編 2

電源を入／切(電源待機)します。

### CATV……………2.操作編 3

CATV放送を選局するときチャンネル番号を入力して使います。

### 地上D 放送切換……………11・47

地上デジタル放送の画面に切り換えます。  
※お使いの地域で「地上デジタル放送」が受信可能になってから使用するボタンです。

### 地上A 放送切換……………11・27

地上アナログ放送の画面に切り換えます。

### データ連動(d)……………2.操作編 72

デジタル放送のテレビ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

### 音量(+/-)……………2.操作編 2

音量を調整します。

### 消音……………2.操作編 2

音を一時的に消します。

### 番組表……………2.操作編 4

デジタル放送の電子番組表(EPG)の表示を入／切します。

### 番組情報……………2.操作編 4

視聴中のデジタル番組の詳細な情報を表示します。

### カーソル(上・下・左・右)……………2.操作編 28

メニューや項目を選びます。

### 決定……………2.操作編 28

カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

### 終了……………2.操作編 28

静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。

**おしらせ** メニューや電子番組表の操作が途中で分からなくなったときなどに使うと便利です。

### カラーボタン(青・赤・緑・黄)……………2.操作編 4

デジタル放送の電子番組表(EPG)やデータ番組の操作に使います。

### オフタイマー……………2.操作編 56

電源を指定時間後に切ります。

### バーチャル……………2.操作編 54

バーチャルドルビーサラウンド機能を入／切します。

### お好み選局／登録……………2.操作編 60

お好み登録したチャンネルの選局と登録されているチャンネルの確認／登録画面の表示を入／切します。

### 3桁入力……………2.操作編 67

3桁チャンネル番号を入力してデジタル放送を選局するときに使います。

### チャンネル……………2.操作編 2

- 各ネットワーク(地上A・地上D・BS・CS)のメディア(テレビ／ラジオ／データ)ごとのチャンネル選局をします。
- 各種設定の数字入力にも使用します。

### CS 放送切換……………2.操作編 66

110度CSデジタル放送の画面に切り換えます。

### BS 放送切換……………2.操作編 66

BSデジタル放送の画面に切り換えます。

### テレビ／ラジオ／データ……………2.操作編 66

メディア(放送の種類)の切換えをします。

### 選局(ハ順／V逆)……………2.操作編 2

チャンネルボタンで視聴選択されている放送チャンネルを順／逆で選局します。  
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

### 入力切換……………2.操作編 3

入力を切り換えます。  
押すたびに入力が切り換わります。  
(入力1〜4は、端子にケーブルが接続されているときに表示されます。)  
※カードは挿入しているときのみ、選択できます。

### 裏番組……………2.操作編 4

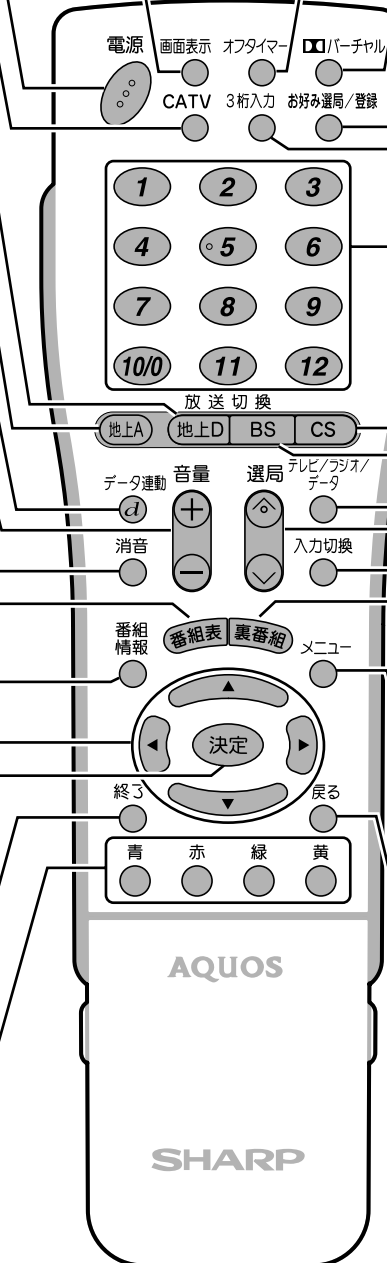
デジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

### メニュー……………2.操作編 28

メニュー画面の表示を入／切します。

### 戻る……………2.操作編 28

1つ前の画面に戻ります。  
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。  
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



ここでは、リモコンのそれぞれのボタンのおおまかな働きを説明しています。

## フタを開けたところ

### デジタル登録.....2.操作編 70

チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルの確認／登録画面を表示します。

### 静止.....2.操作編 64

視聴中の番組を2画面にして、静止画と動画で表示します。

### 画面サイズ.....2.操作編 38・2.操作編 40

お好みの画面サイズを選びます。

### 映像切換.....2.操作編 71

デジタル放送の主・副映像を選びます。

### i.LINK.....2.操作編 137

i.LINK操作パネルを表示します。

### 2画面.....2.操作編 62

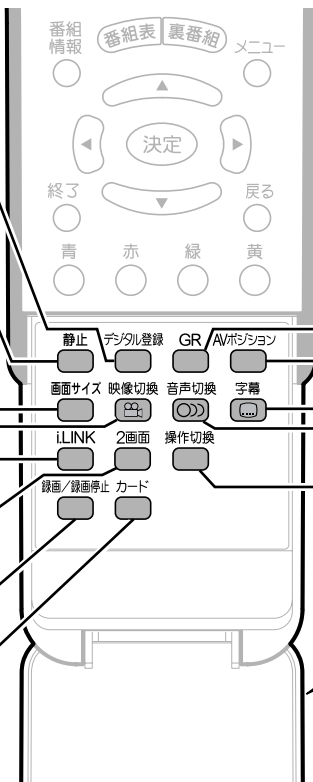
2画面表示を入／切します。

### 録画／録画停止.....2.操作編 168

カードへの録画を開始／停止します。

### カード.....2.操作編 161

- カード入力に切り換えます。
- カード操作パネルの表示を入／切します。



### GR.....2.操作編 58

GR(ゴースト軽減)機能を入／切します。

### AVポジション.....2.操作編 47

お好みのAVポジションを選びます。

### 字幕.....2.操作編 87

デジタル放送の字幕表示を入／切します。

### 音声切換.....2.操作編 55・2.操作編 71

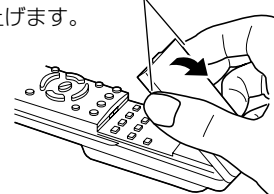
音声モードを切り換えます。

### 操作切換.....2.操作編 63

2画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

### フタの開けかた

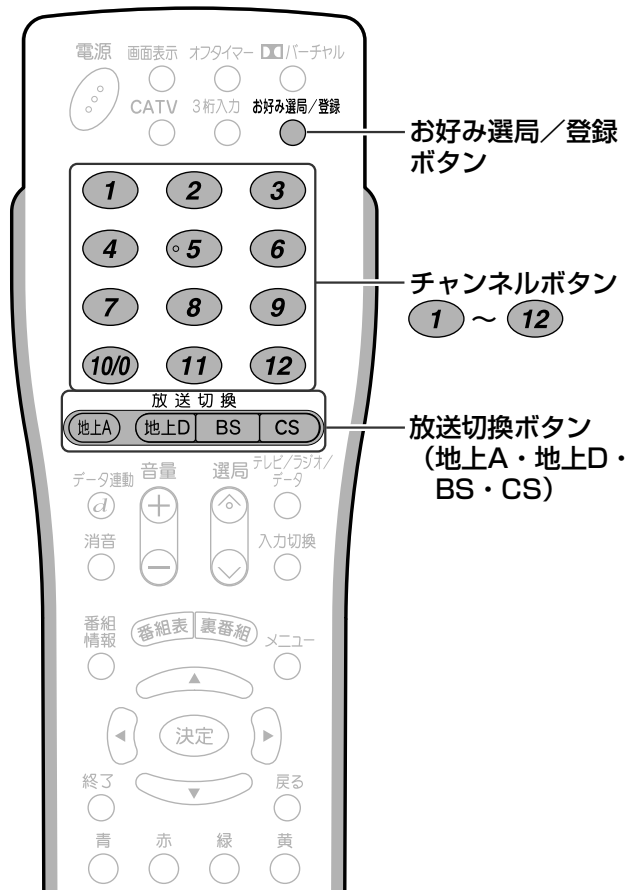
両側の突起部を持ち、引き上げます。



はじめに

各部のなまえ(リモコン)

## チャンネルの基本的な選びかた



お好み選局／登録ボタン

チャンネルボタン  
1 ~ 12

放送切換ボタン  
(地上A・地上D・BS・CS)

## 地上アナログ放送(VHF/UHF)の選局

① 放送切換ボタン(地上A)を押す

② 1 ~ 12を押す

## デジタル放送の選局

① 放送切換ボタン(地上D、BS、CS)のいずれかを押す

② 1 ~ 12を押す

### 放送の種類

- 地上A : 従来の地上アナログ放送(VHF/UHF)
- 地上D : デジタル方式の地上放送(UHF)
- BS : デジタル方式のBS衛星放送
- CS : デジタル方式のCS衛星放送

■ 選局について詳しくは、2.操作編 2・66ページをご覧ください。

CSチャンネルの選局については、「お買い上げ後、はじめてCSチャンネルを選局するときは」(2.操作編 24ページ)をご覧ください。

## お好みチャンネルの選局

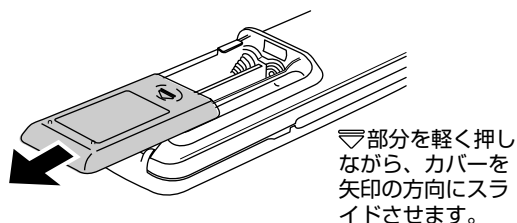
① お好み選局／登録ボタンを押す...お好み選局／登録画面が表示されます。

② 1 ~ 12を押す

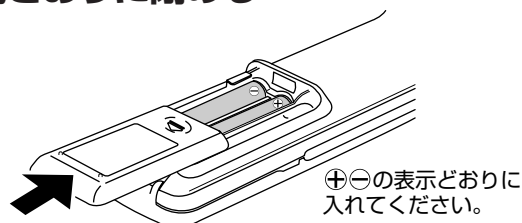
# リモコンに乾電池を入れる

## 乾電池の入れかた

### 1 カバーを開ける

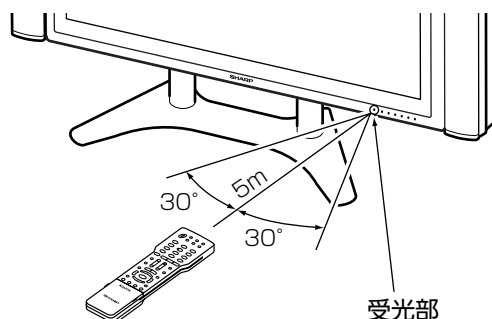


### 2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを元どおりに閉める



### リモコンで操作できる範囲

リモコンは、画面右下の受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から約5m、上下左右に約30度以内です。



### リモコンで動作しにくいとき

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 乾電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。

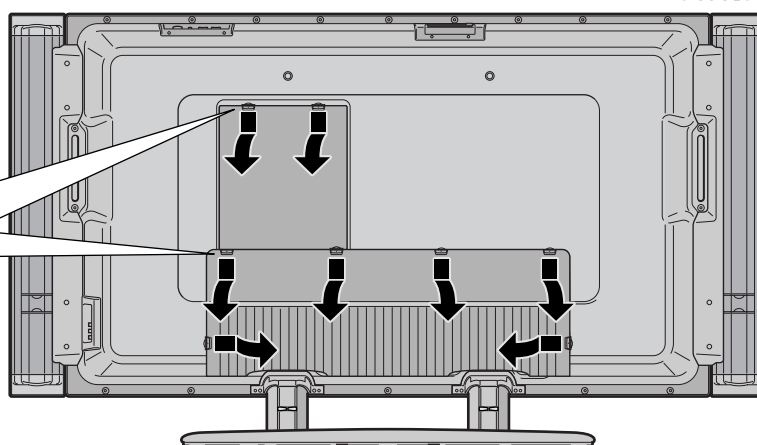
### リモコン使用上のご注意

- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えるなどしてみてください。

# 端子カバーの外しかた

▼本体背面

フックを押しながら端子カバーを外します。



# 設置のしかた



末永くお使いいただくため、安全で、安定した環境に設置していただきますようお願いします。

## 1. スピーカーを取り付ける

工場出荷時は、本体にスピーカーが付いておりません。ご使用前にスピーカーを取り付けてください。

- スピーカーの取り付け・取り外しの際は、本体の電源を切ってください。
- スピーカーの取り付け・取り外しの際は、必ず2人以上で作業を行ってください。

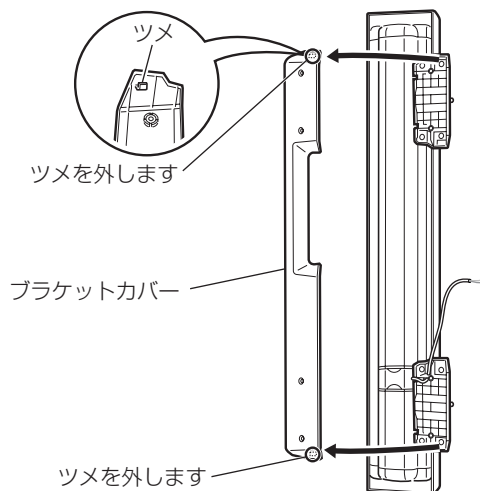


- スピーカーとケーブルは、左右および⊕⊖の区別を確認して取り付けてください。
- スピーカー取り付け後、スピーカー部を持って持ち上げたり、運んだりしないでください。
- お手持ちのスピーカーを本機に接続することもできます。(2.操作編 146・147ページ参照) 同様の手順で配線してください。

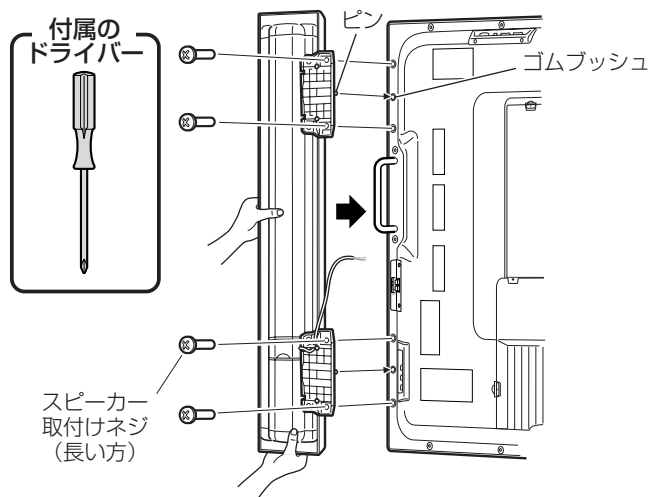
1人がスピーカーを支え、もう1人が取り付けをしてください。

### 1 スピーカーからブラケットカバーを外す

- 上下2箇所のツメを外します。

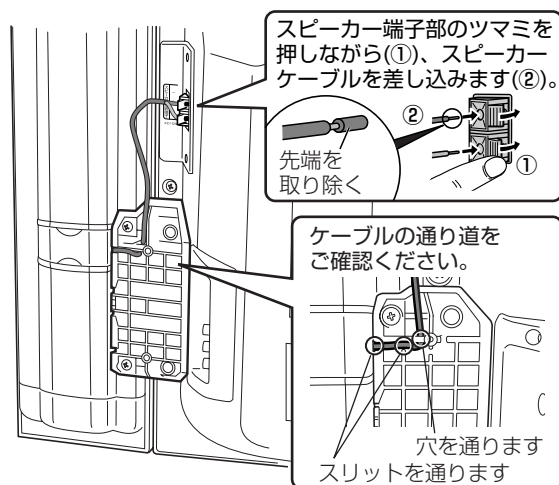


### 2 スピーカーのピンを本体に差し込み、スピーカーを仮固定してから(スピーカーとテレビにすき間のないようしっかり押しつけてください)、付属のネジで固定する

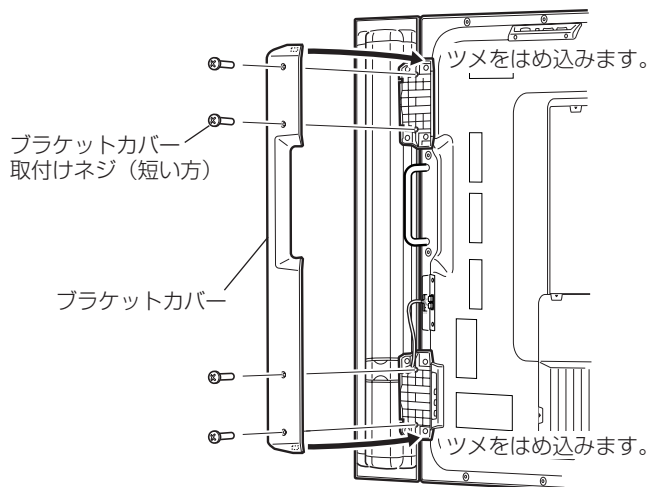


### 3 スピーカーケーブルを本体のスピーカー端子に接続する

- ケーブル先端の被覆を取り除いてから、黒を⊖、赤を⊕に接続します。



### 4 ブラケットカバーを取り付け(上下2ヶ所のツメをはめ込みます)、ネジで固定する



※ブラケットカバーによって、スピーカーケーブルがはさまれないように注意してください。

はじめに

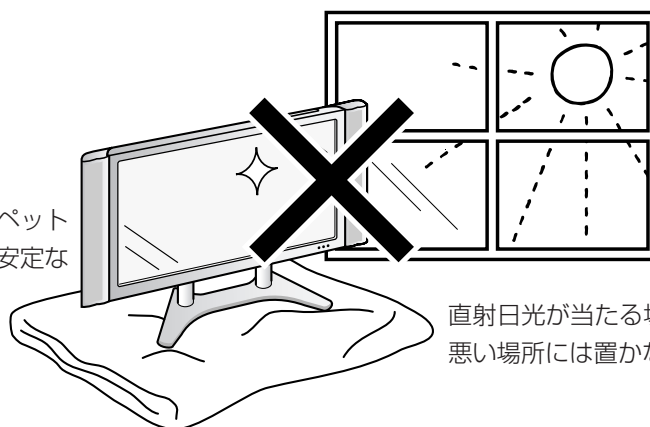
設置

設置のしかた  
リモコンに乾電池を入れる／端子カバーの外しかた

# 設置のしかた(つづき)

## 2. 置く場所を決める

すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定なところに置かない。



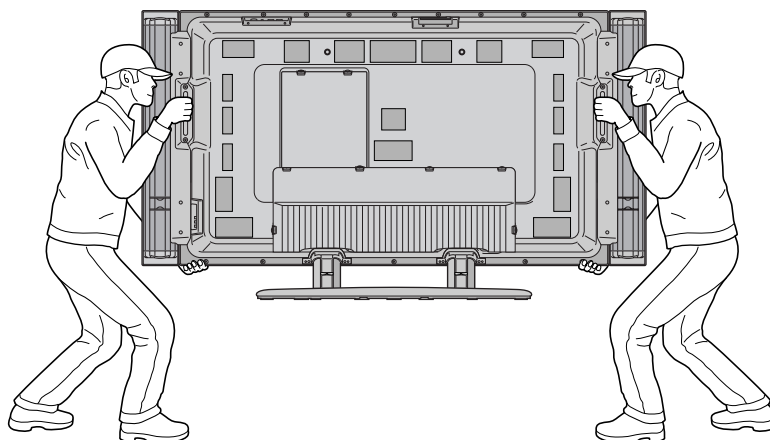
直射日光が当たる場所、風通しの悪い場所には置かない。

**本機は重量がありますので、設置の際は専門の業者にご相談ください。**

- 直射日光が当たらない、風通しのよい場所を選んでください。
- 傾斜のない平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所には設置しないでください。
- 極端に温度が高い場所や温度が低い場所には設置しないでください。(使用温度:0℃～40℃)
- 台などに設置する場合は、本機の重さに耐える堅固なもので、十分な幅と奥行きのある転倒しにくいものを使用してください。
- キャスター付きの台を使用するときは、必ずキャスターに受け皿を使用してください。

## 3. 製品を設置する

● 壁掛け設置工事などは、必ず専門の業者にご依頼ください。



- 本機は重いので、移動させるときは、必ず2人以上で行ってください。なお、壁掛けなどの設置工事を伴う作業は、専門の業者にご依頼ください。
- 本機を移動させるときは、必ず背面の取っ手を持ってください。
- 本機を移動させるときは、液晶パネル面に手をかけないでください。破損の原因となることがあります。
- 本機のスタンドは、別売の壁掛け金具などを使うとき以外は外さないでください。
- 本機を移動させるときは、スピーカーに手をかけないでください。指先を立てて握ったり、先端のとがったものを当てないようにしてください。変形の原因となることがあります。

## 4. 転倒防止策を実施する

### 本機を壁や柱に固定する

市販の丈夫なヒモと金具を使い、壁または柱に固定します。

### スタンドを台や床の上に固定する

付属の転倒防止用部品を使用して、スタンドを台や床の上に固定します。

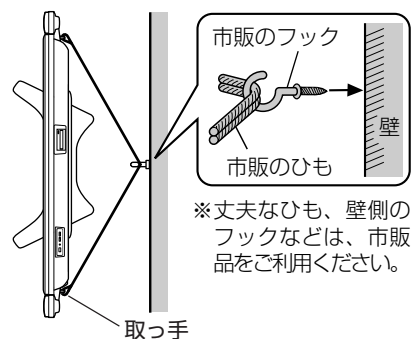
付属の固定バンドは次のA、Bのうち、いずれかの方法で取り付けてください。

**ご注意** 本機を動かすときは、必ず2人以上で行ってください。

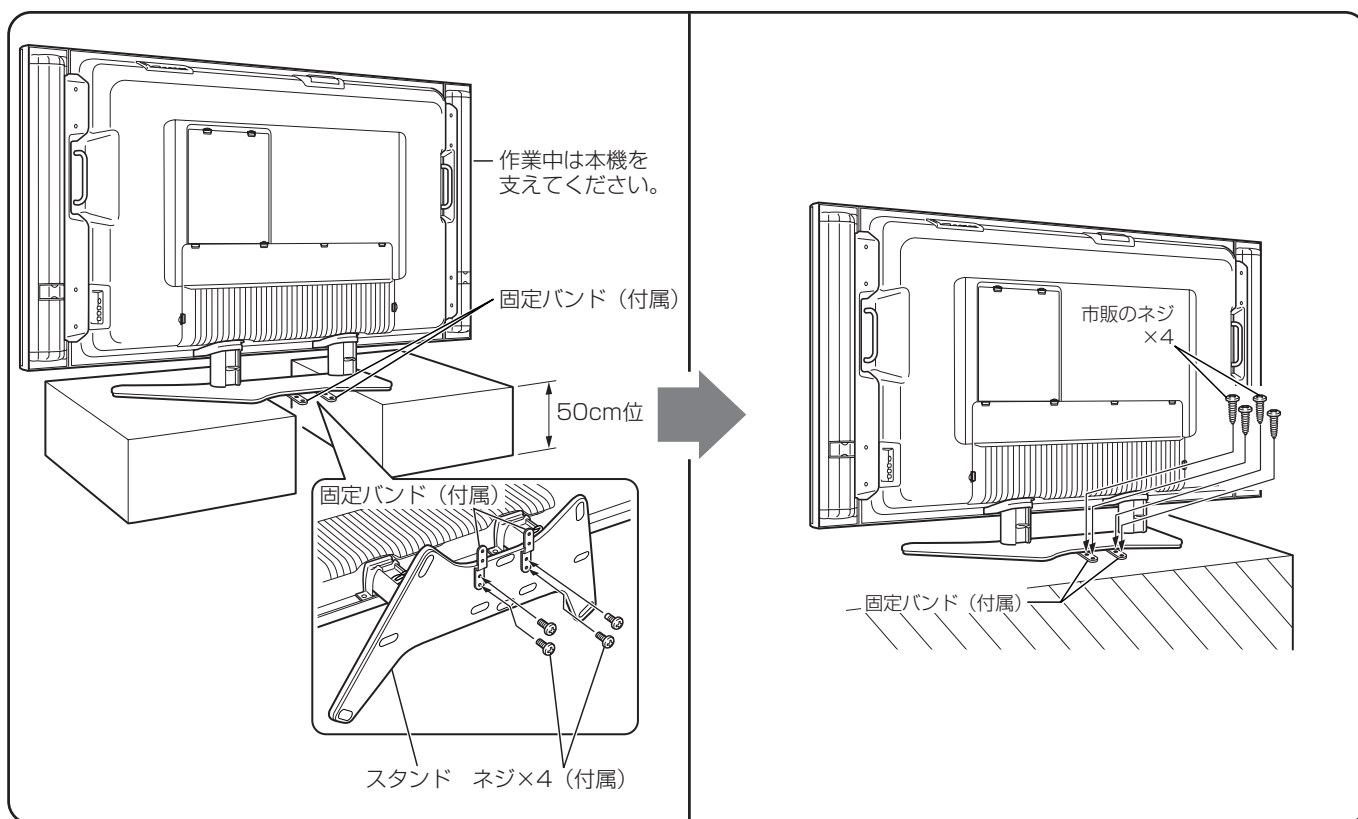
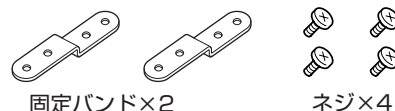
#### A. 台を利用して転倒防止用部品を取り付ける

- ご注意**
- 同じ高さの台を2台用意します。
  - 幅と奥行きが十分あり、本機の重さ(約75kg)に耐えられる堅固な台をご使用ください。
  - 固定バンドを取り付けるため、本機を台の上に置く場合、不安定にならないようご注意ください。

上から見た図



#### 付属の転倒防止用部品一式

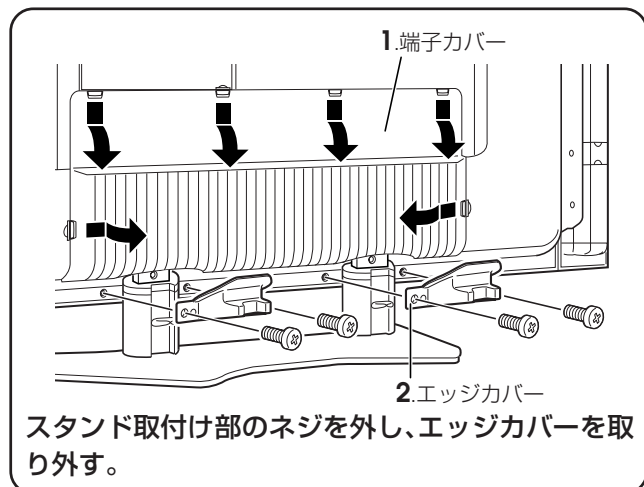


# 設置のしかた(つづき)

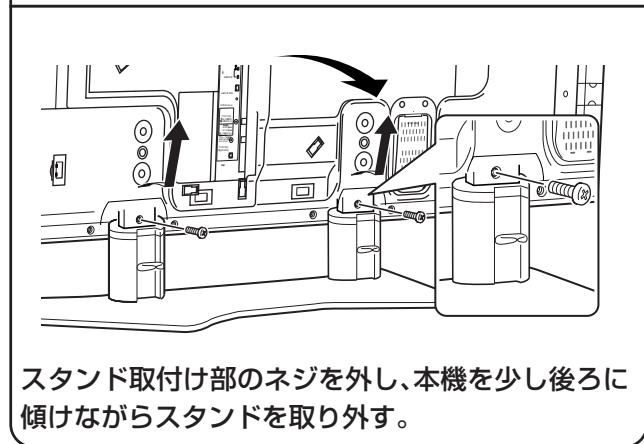
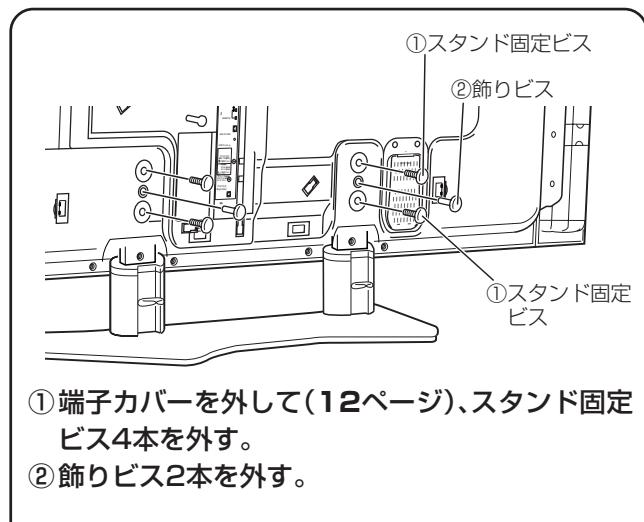
## B. 適当な台がない場合

・本機を立てたままスタンドを取り外し、転倒防止用部品を取り付けます。

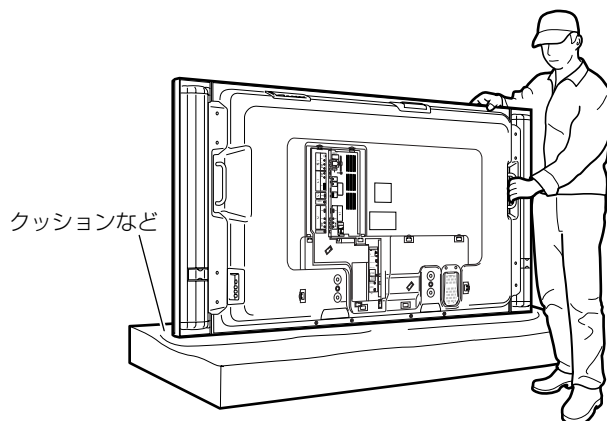
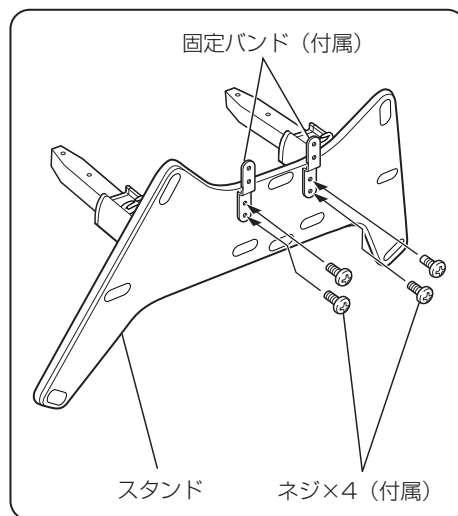
1. 端子カバーを取り外します。
2. エッジカバーを外します。



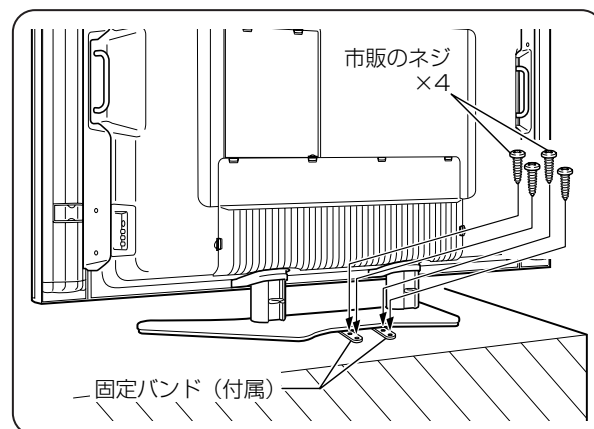
3. スタンドを外します。



4. 外したスタンドに固定バンドを取り付けます。その間、本機はやわらかいクッションなどの上に置き、倒れないように支えてください。



5. 1～3と逆の手順で本機にスタンドを取り付けます。
6. 市販のネジを利用してスタンドを固定します。



## 別売品を使って設置する場合

別売の壁掛け金具(AN-65AG1)やフロアースタンド(AN-65FR1)に取り付ける場合は、スタンドを外してから、取り付けます。

取り付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

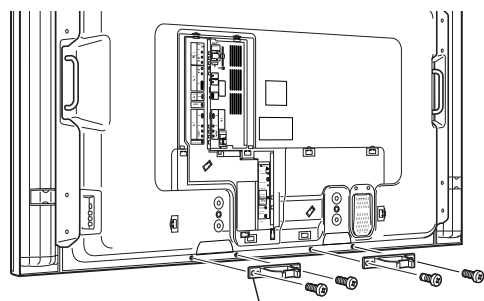
**ご注意**

本機の設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様自身による設置工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については当社は責任を負いません。

● **スタンドの外しかた：16ページ**をご覧ください。

### 壁に掛けて使う場合

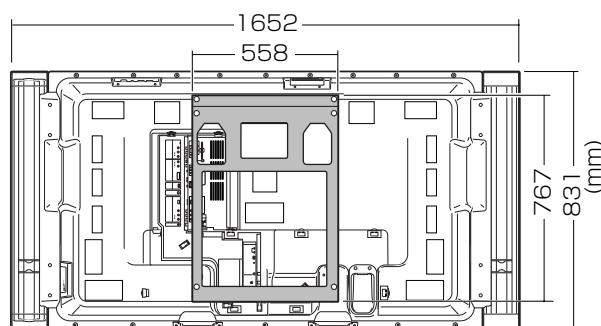
別売品：AN-65AG1



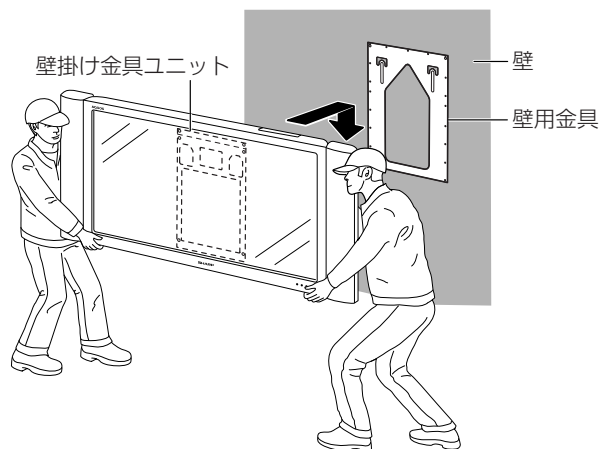
スタンド穴ふさぎカバー（付属品）

スタンドを外した後、スタンド穴ふさぎカバー(付属品)をビス4本(エッジカバービス)で取り付けてください。(詳しくはAN-65AG1の取扱説明書をご覧ください。)

※壁掛けする場合は、裏面のカバーを外したままで金具を取り付けてください。(カバーを付けると取り付けできません。)

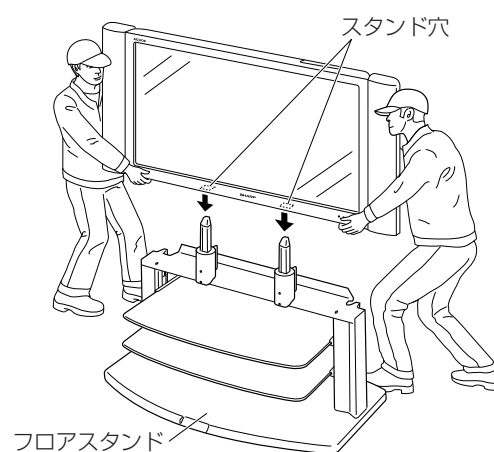


本機に壁かけ金具ユニットを取り付ける。(詳しくはAN-65AG1の取扱説明書をご覧ください。)



### フロアースタンドに設置する場合

別売品：AN-65FR1



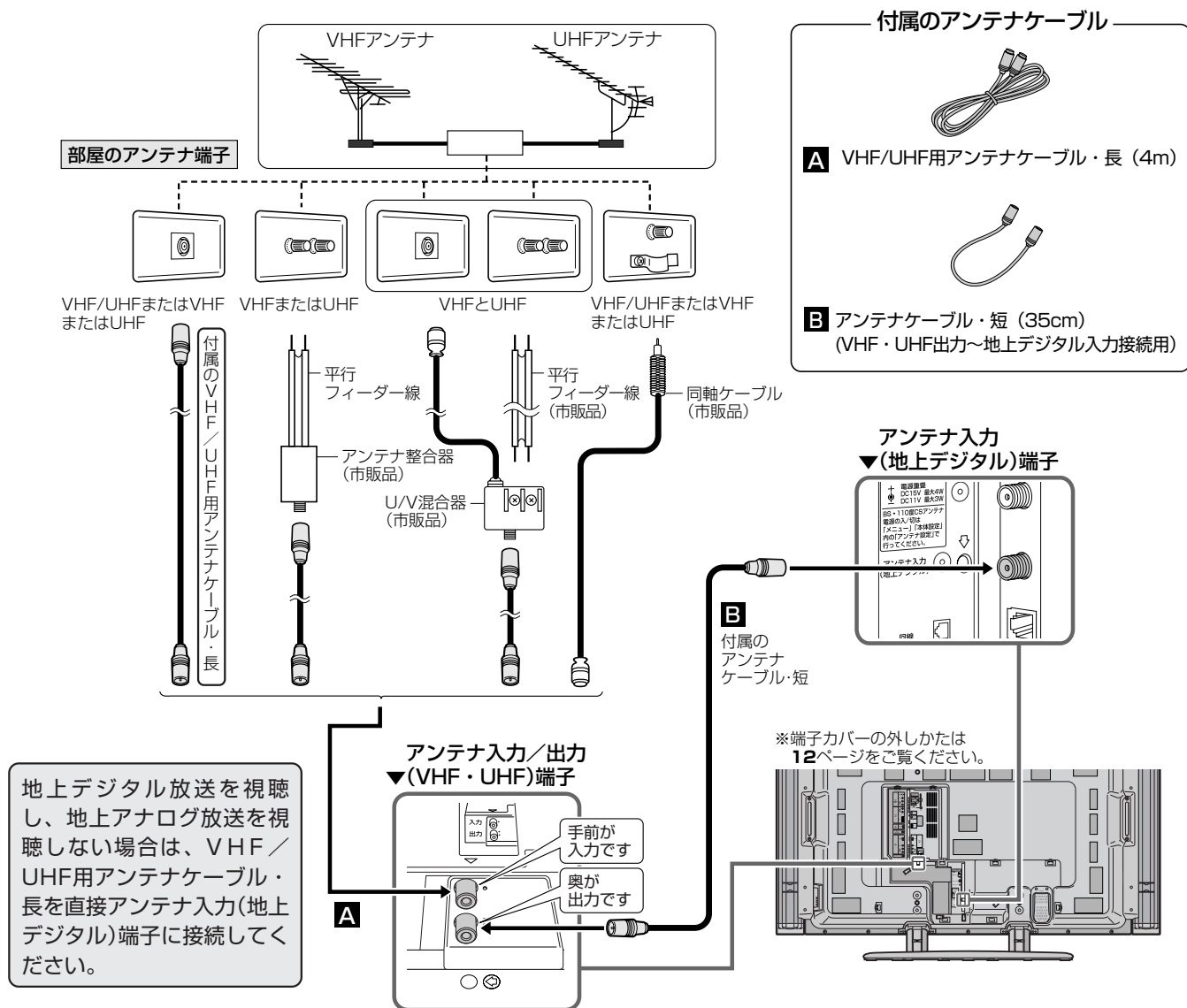
設置


設置のしかた(つづき)

# アンテナをつなぐ

## VHF/UHFアンテナの接続

- 付属のVHF/UHF用アンテナケーブル・長(差し込みタイプの方)、市販のアンテナ整合器などを、部屋のアンテナ端子の種類や使用するアンテナ線に応じて接続し、本体背面端子部のアンテナ入力(VHF・UHF)端子に接続してください。(下図A参照)
- 付属のアンテナケーブル・短で、本体背面端子部のアンテナ出力(VHF・UHF)端子とアンテナ入力(地上デジタル)端子を接続します。(下図B参照)
- 地上デジタル放送をCATVパススルー\*で受信する場合も、VHF/UHFアンテナと同じ接続をします。CATVによる地上デジタル放送の視聴方法については、お客さまが契約されているケーブル会社にお問い合わせください。(※CATVパススルー…46ページをご覧ください。)
- 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。VHFアンテナでは受信できません。現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。(※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。また、地域によってはブースターの追加などが必要になることがあります。)



- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナ入力(VHF・UHF)端子への接続には、付属のアンテナケーブル・長のうち、先端プラグが差し込みタイプの方(形状: )をお使いください。
- 本機の電源を「切」にすると、アンテナ出力(VHF・UHF)端子から信号は出力されません。  
※アンテナ出力(VHF・UHF)端子にビデオデッキなどの他機器を接続しないでください。

## BS・110度CS共用アンテナの接続

■ BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。

**アンテナ**…… 市販のBS・110度CS共用アンテナをご使用ください。(共用アンテナでない従来のBSアナログ放送用アンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。)

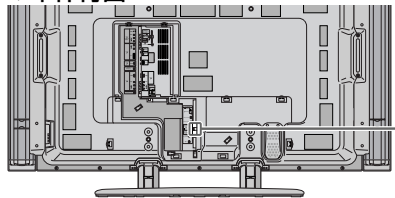
**アンテナ線**…… 110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているもの(例: S-5C-FB)をご使用ください。

**ブースターや分配器をご使用の場合**… 110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをお使いください。

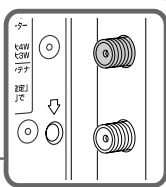
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ BS・110度CS共用アンテナの取付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

### ▼本体背面




### ▼アンテナ入力(BS・110度CS)端子



● BS・110度CS共用アンテナからの衛星放送用ケーブル(同軸ケーブル)をつなぎます。この端子は、BS・110度CSアンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに+15V/+11Vの電源を供給する働きももっています。

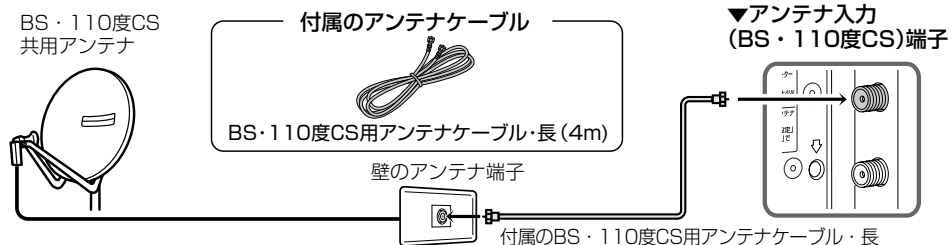
**【注意】** プラグをアンテナ入力端子に取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。



- アンテナ入力(BS・110度CS)端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。(54ページ参照) ※工場出荷時、アンテナ電源の設定は「切」になっています。
- アンテナ入力(BS・110度CS)端子への接続には、付属のアンテナケーブル・長のうち、先端に六角形の金属プラグ(先端金属ネジ止めタイプ)が付いているもの(形状: )をお使いください。

## BS・110度CS共用アンテナを単独で接続するとき

付属のBS・110度CS用アンテナケーブル・長を本体背面端子部のアンテナ入力(BS・110度CS)端子と壁のアンテナ端子に接続します。

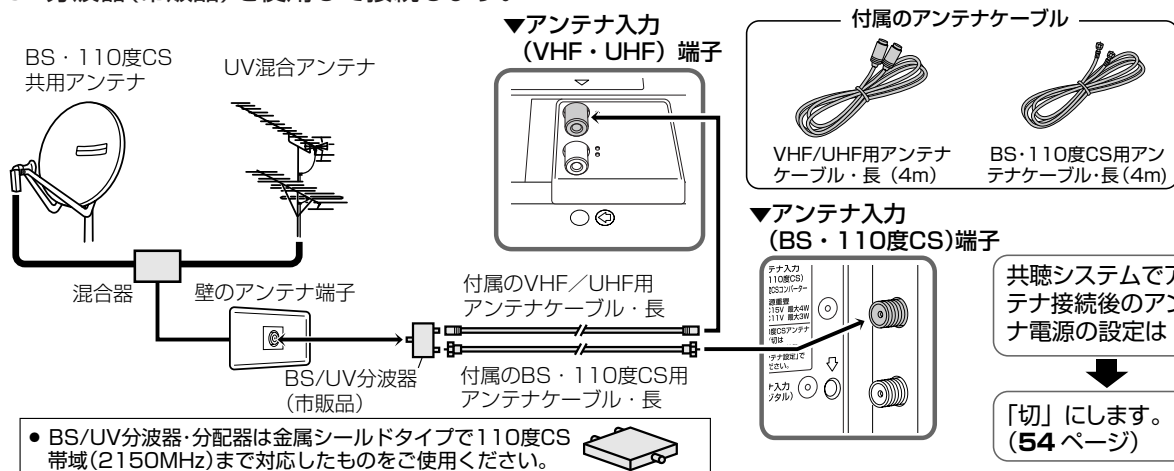


個人でアンテナ接続後のアンテナ電源の設定は

「入」または「電源連動」にします。(54ページ)

## マンションなど、共聴システムで接続するとき(BS・110度CSとVHF/UHFが混合されているとき)

BS/UV分波器(市販品)を使用して接続します。



共聴システムでアンテナ接続後のアンテナ電源の設定は

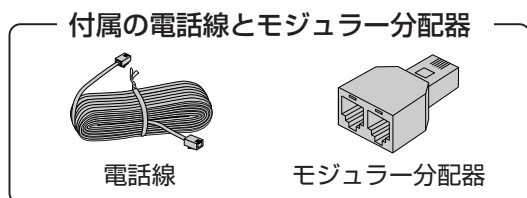
「切」にします。(54ページ)

# 電話線をつなぐ

## 電話回線に接続する

■ 本機は、デジタル放送の双方向番組への参加や有料放送の受信情報の管理のために、放送局との通信を、電話回線を使って行います。

ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

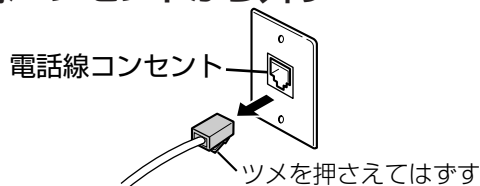


### 接続上のご注意

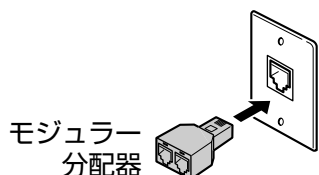
- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

### 1 本機と電話機の電源を切る

### 2 電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントから外す

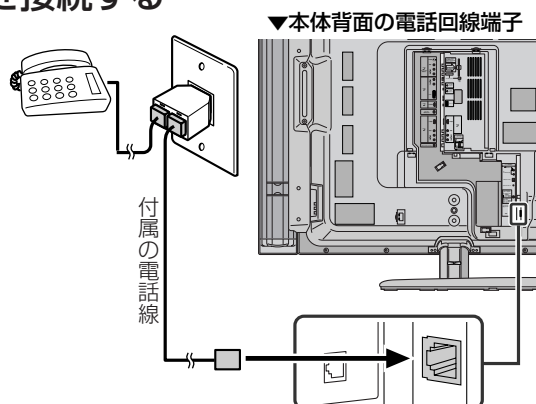


### 3 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む



### 4 電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラー分配器の一方に差し込む

### 5 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機背面の電話回線端子を接続する

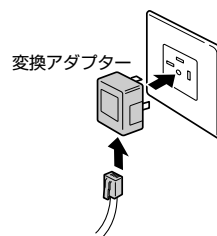


つぎの電話回線では注意が必要です。

#### ■ 電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

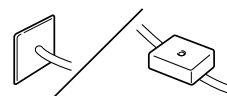
##### ● 3ピンプラグの場合

市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。



##### ● 直結配線方式の場合

簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。



#### ■ 構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)では

そのままご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。詳細は電話設置会社にご相談ください。

#### ■ キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

#### ■ 本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。

通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ...)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

#### ■ 直接デジタル回線に接続することはできません。

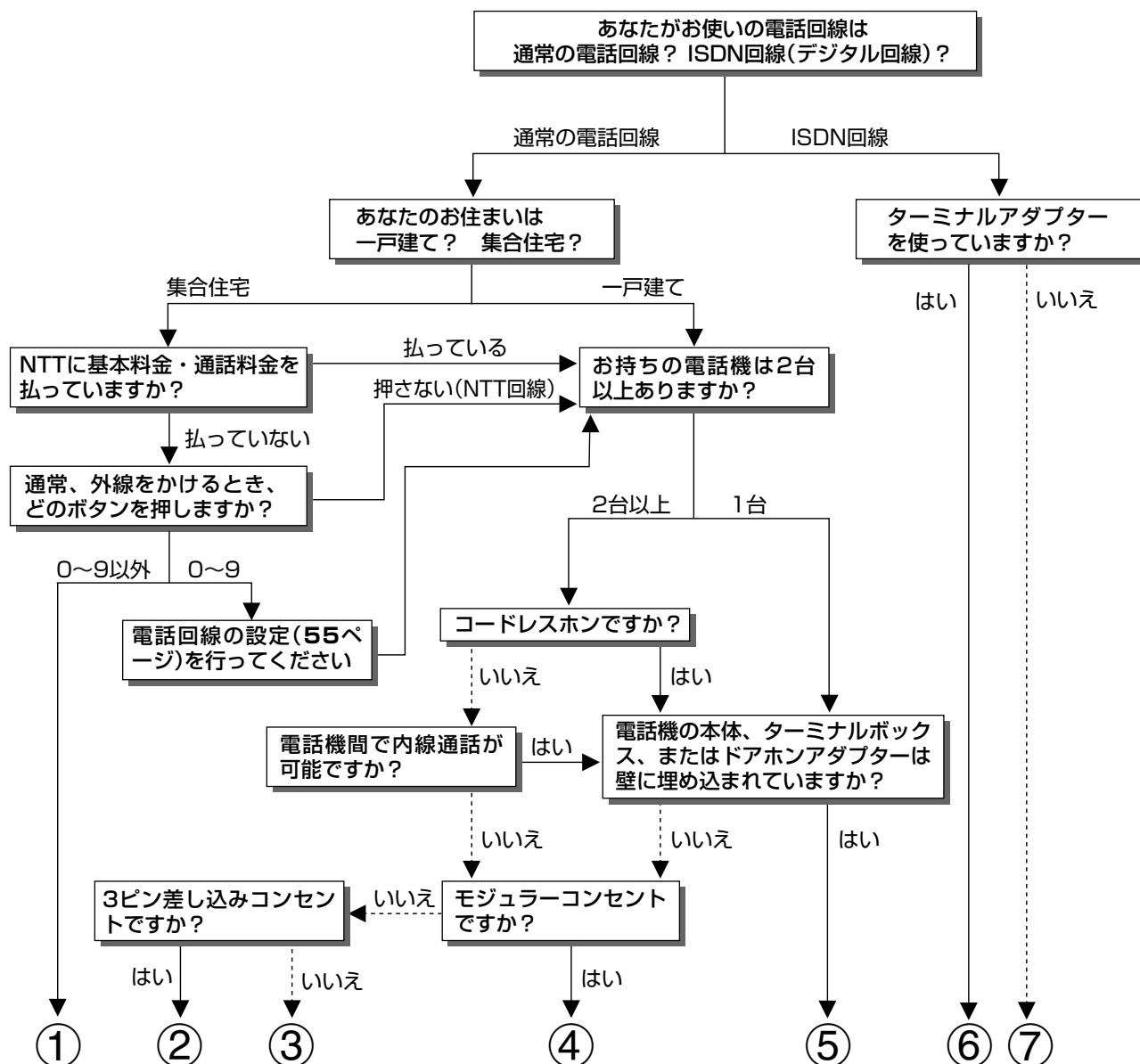
会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。

おしらせ

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。  
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

### 接続形態確認チャート



- ① マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
  - ② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
  - ③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
  - ④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。(20ページ参照)
  - ⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
  - ⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
  - ⑦ ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。  
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- ※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)でご相談ください。

■ADSL回線を利用するときは、「LAN接続と設定」の説明(2操作編102ページ)をご覧ください。

※ ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

# ビデオやDVDプレーヤーなどをつなぐ

■ 本機はビデオ入力端子6系統を備えており、ビデオやDVDプレーヤーなどの外部再生機器を6台まで接続することができます。(HDMI接続のしかた…**2.操作編 115**ページ。i.LINK接続のしかた…**2.操作編 133**ページ)

■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

## ■ 接続上のご注意

- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っばらずにプラグを持って抜きとってください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

## ビデオ機器の接続のしかた

### 映像入力端子、S2 映像入力端子に接続する

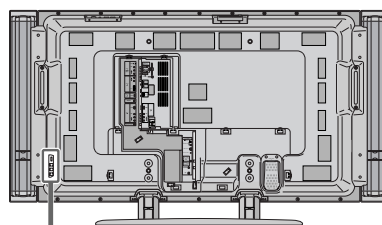


- 音声はそれぞれの音声端子(左/右)に接続してください。
- 入力1～4の映像・音声入力端子または入力3、入力4のS2映像・音声入力端子に接続できます。
- 入力4に接続するときは、入力4端子設定を「入力」に設定してください。(2.操作編 128ページ)
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

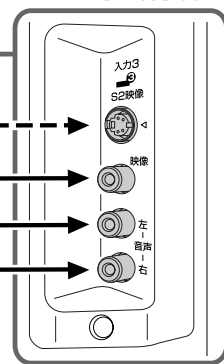
● 本機の接続端子の種類(専用のケーブルが必要になります)と接続の目やす

D端子	入力1・2		本機に接続する機器についている端子の形状を確認して、ケーブルを選んでください。 (本機の入力1～6と、接続する機器の端子番号は、必ずしも同じではありません。)
S端子	入力3・4		
HDMI端子	入力5		
DVI-I端子	入力6		
i.LINK(TS)端子	i.LINK(TS)		
映像・音声端子	入力1～4		

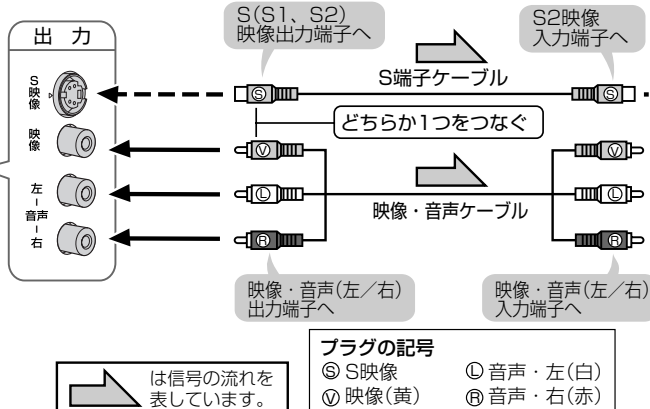
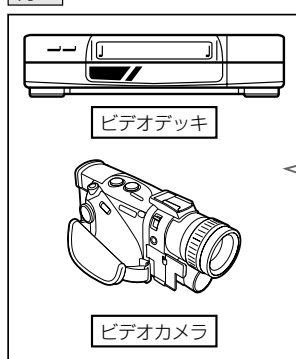
▼本体背面



▼入力3端子部



再生



### S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像が入力3、入力4のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(2.操作編 42ページ)
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。(S端子接続の場合、画面サイズ制御信号には対応していません。)

## DVDプレーヤーなどの接続のしかた

■ DVDプレーヤーなどに、D端子、S端子などの高精細映像に対応した出力端子がついている場合は、その出力端子に合った接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

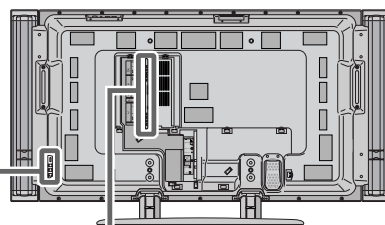
### D4映像入力端子、S2映像入力端子に接続する



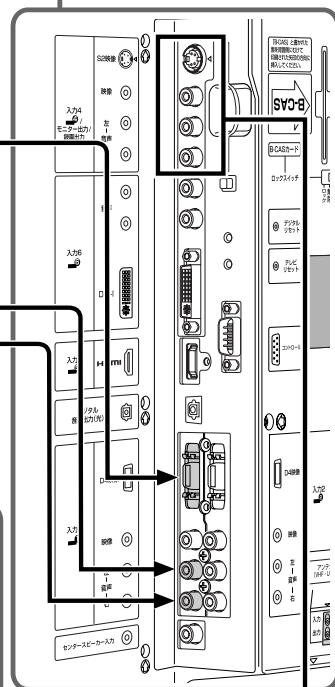
- 音声はそれぞれの音声端子(左/右)に接続してください。
- 入力1・2のD4映像・音声入力端子または入力3・4のS2映像・音声入力端子に接続できます。
- 入力4に接続するときは、入力4端子設定を「入力」に設定してください。(2.操作編 128ページ)
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

- D4端子、S2端子を使うときは、同じ入力の映像端子に接続する必要はありません。
- D4端子、S2端子などは高精細な画質で入力された映像を同じ画質で再現するための端子です。標準画質で入力された映像は同じ標準画質になります。

#### ▼本体背面



#### ▼入力1・2・4端子部

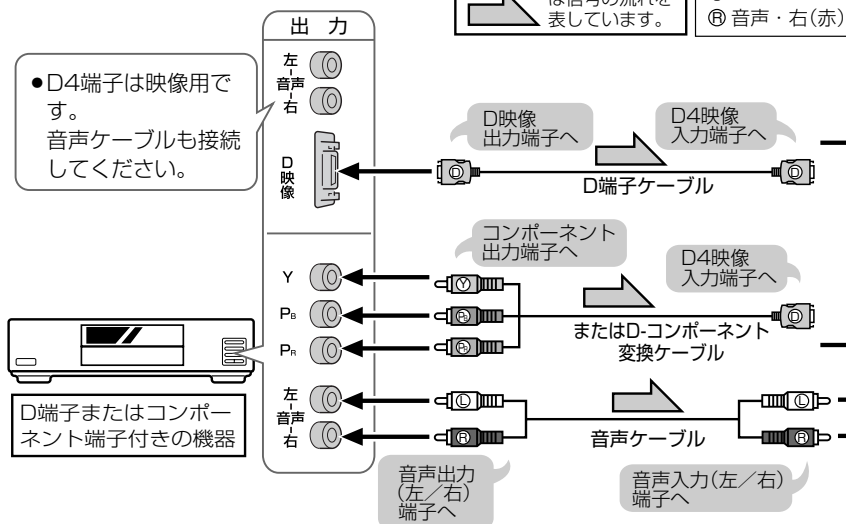


- 入力4/モニター出力/録画出力を入力として使用するときには「入力」に設定します。(2.操作編 128ページ)

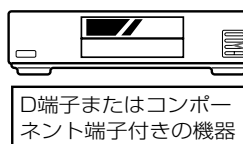
#### プラグの記号

- ⓐ D映像
- ⓑ S映像
- ① 音声・左(白)
- ② 音声・右(赤)

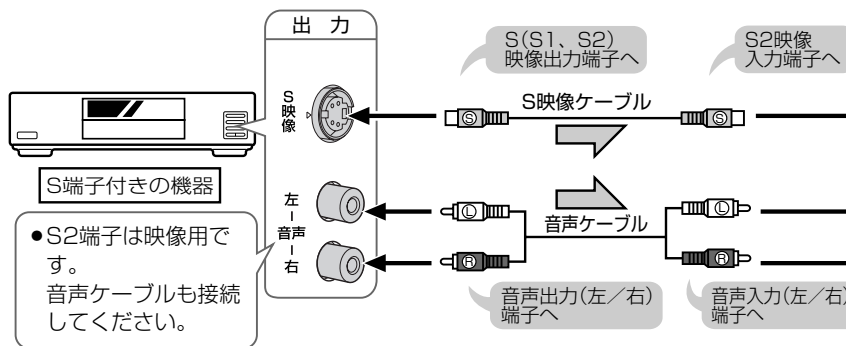
は信号の流れを表しています。



- D4端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。



D端子またはコンポーネント端子付きの機器



- S2端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。



S端子付きの機器

接  
続

ビデオやDVDプレーヤーなどをつなぐ

#### D4映像入力端子について

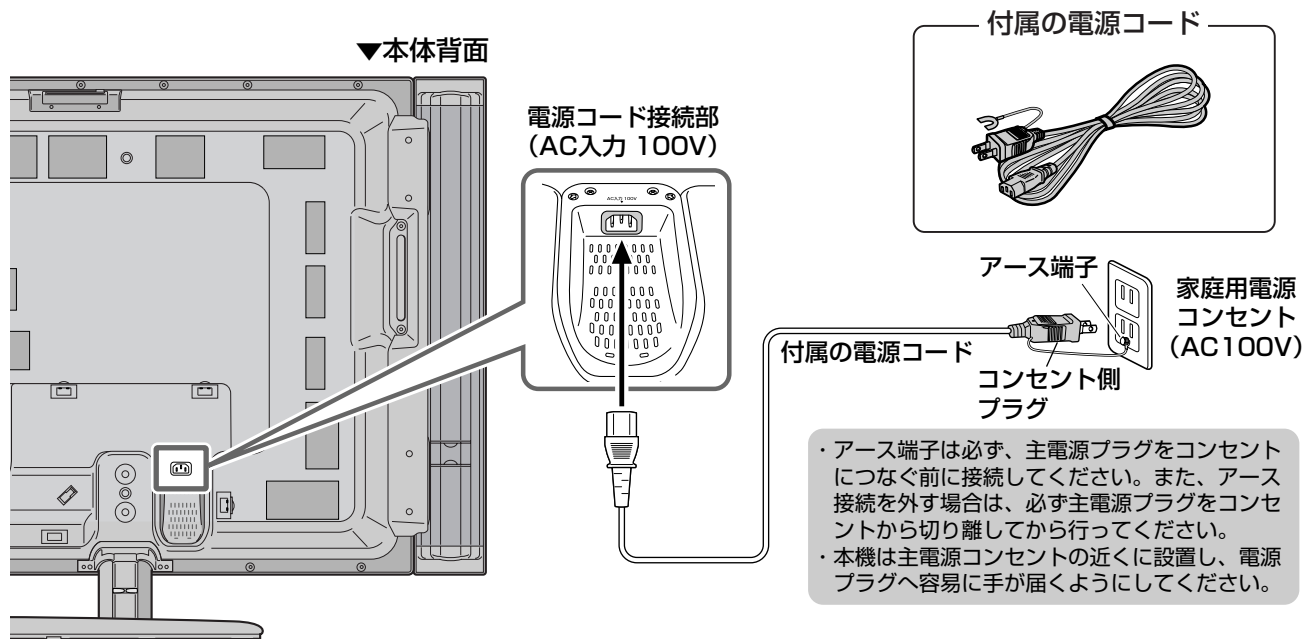
- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。
- D4端子を使用するときは、接続端子の種類に応じた画面サイズの判定の設定を行ってください。(2.操作編 43ページ)

# 電源コードをつなぐ

## ご注意

接続が終わるまでは、電源スイッチを「入」にしないでください。

- 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「AC入力 100V」端子に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

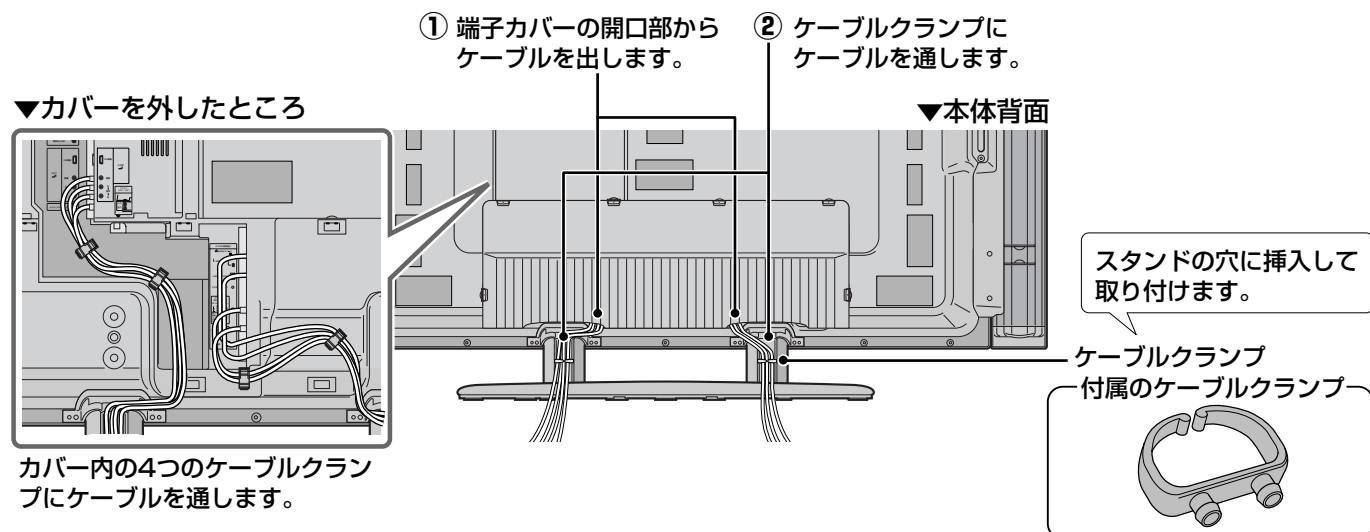


## ご注意

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

# ケーブル処理のしかた

- 本体背面の端子部につないだケーブル類は、下図のように、付属のケーブルクランプを使って配線すると、すっきりまとめることができます。

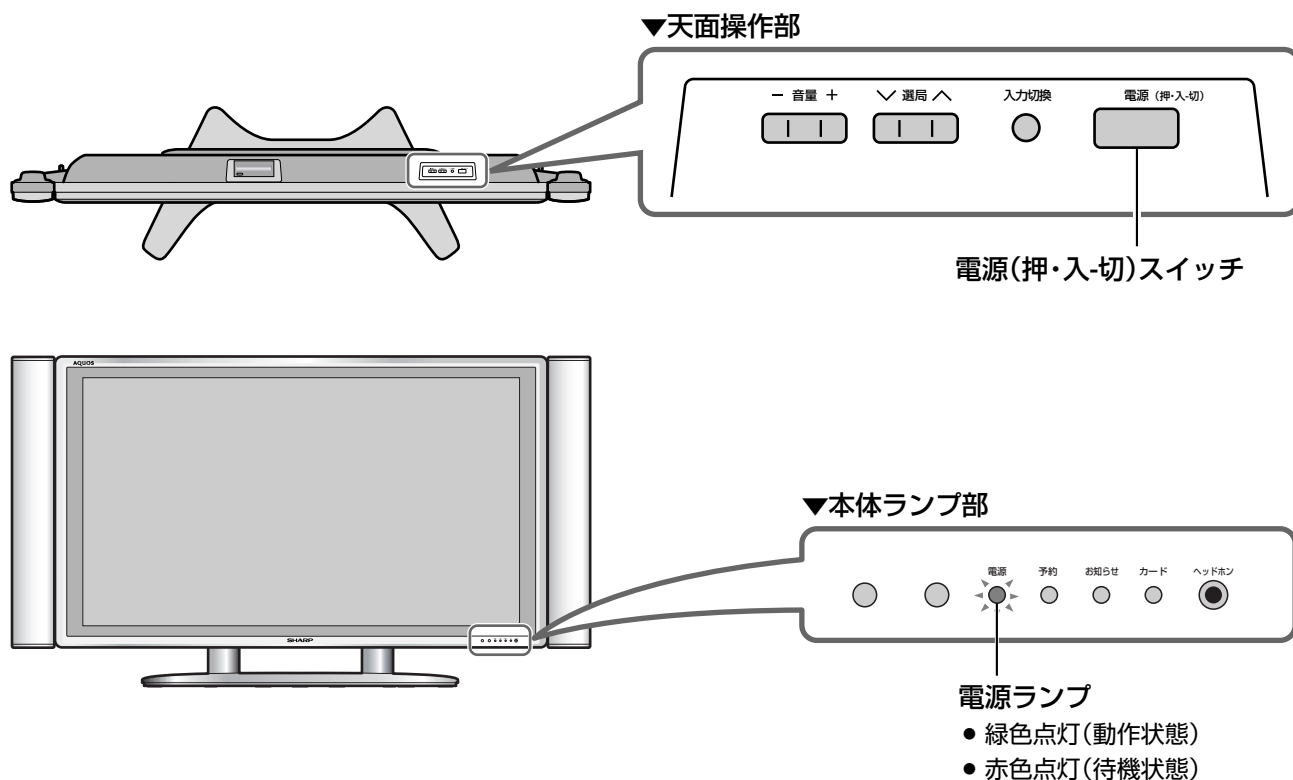


# 電源を入れる

■ 各種ケーブルの接続が済みましたら、本機の電源を入れます。

## 1 本体、天面操作部の電源(押・入-切)スイッチを押し、電源を「入」にする

- 電源ランプが緑色に点灯します。(動作状態)



## 2 電源スイッチを「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を入／切することができます

- 電源「切」の状態(待機状態)のとき、電源ランプは赤色に点灯します。



- 本機の電源を「入」にしてから画面が表示されるまで、数秒かかることがあります。これは、より美しい映像を表示させるために本機内部でデジタル処理をしているためで、故障ではありません。
- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 本機の電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。)

電源コードをつなぐ／ケーブル処理のしかた

接  
続

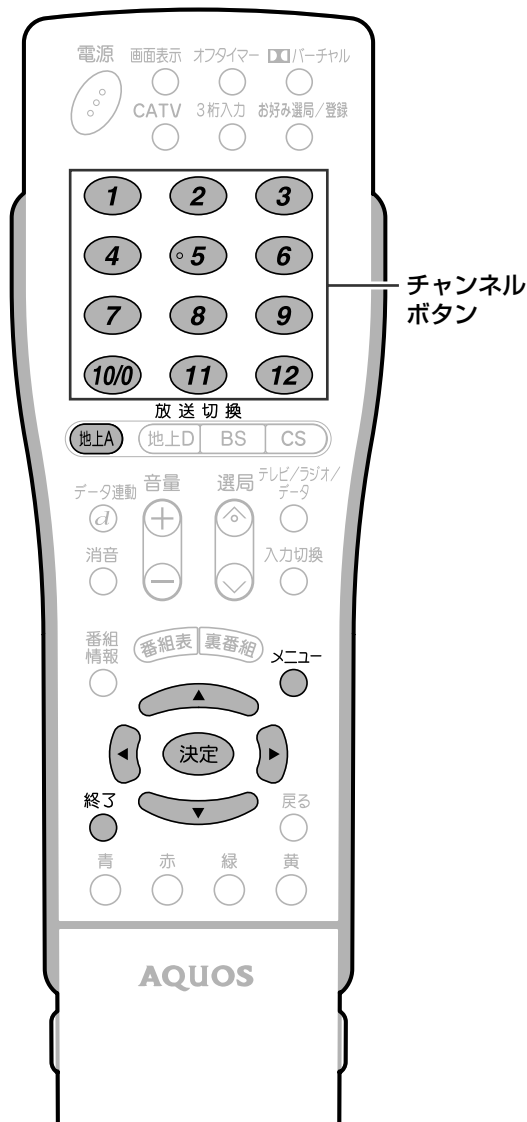




初めて受信設定するときや、あらたに登録しなおすときに自動設定します。

## 自動設定

- 使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチして、記憶させることができます。
- 記憶できるチャンネルは、最大12局です。記憶された局の1~12チャンネルは、リモコンのチャンネルボタン(①~⑫)で選局できます。



お知らせ

### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- メニュー画面の表示内容は変更される場合があります。

## 操作開始

1

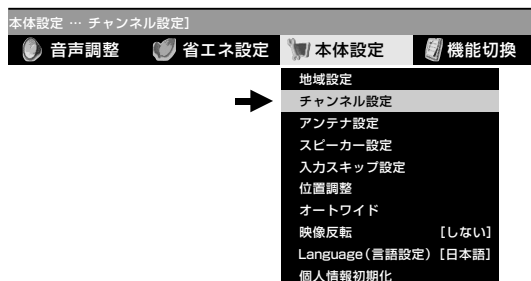
① **地上A** を押し、地上アナログ放送を選ぶ

2

② **メニュー** を押し、メニュー画面を表示する

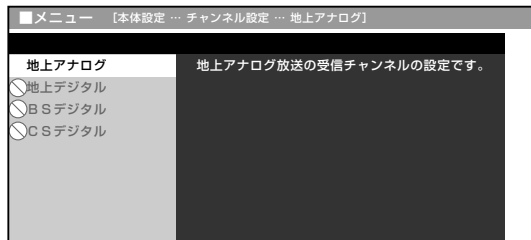
③ **左** で「本体設定」を選ぶ

④ **右** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す



3

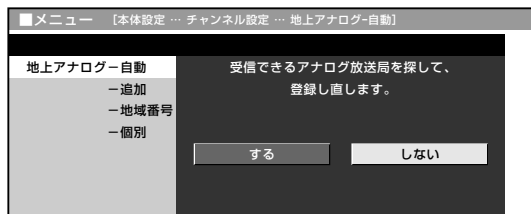
⑤ **地上アナログ** を選び、**決定** を押す



4

⑥ **地上アナログー自動** を選び、**決定** を押す

「地上アナログー自動」(自動設定)について詳しくは、28ページの「お知らせ」をご覧ください。



次ページへ

次ページへつづく

● 1つ前に戻る場合は **戻る** を押してください。

操作終了する場合は

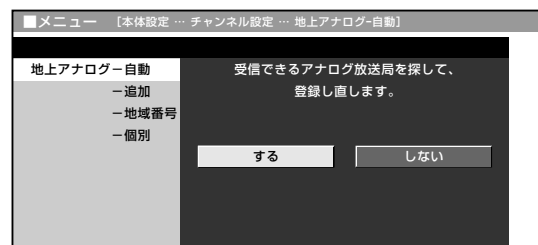
**メニュー** または **終了** を押し、通常画面に戻す

地上アナログ放送のチャンネルを設定する

設定

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する(つづき)

## 5 5で「する」を選び、決定を押す



### 「地上アナログ自動」(自動設定)について

- 手順4で「地上アナログ自動」を選んだときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。初めてチャンネル設定するときは、「地上アナログ自動」で行います。登録済みチャンネルを残しておきたい場合は、「地上アナログ追加」(追加設定)を選んでください。(36ページ参照)

### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

## 6 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。

(画面例)



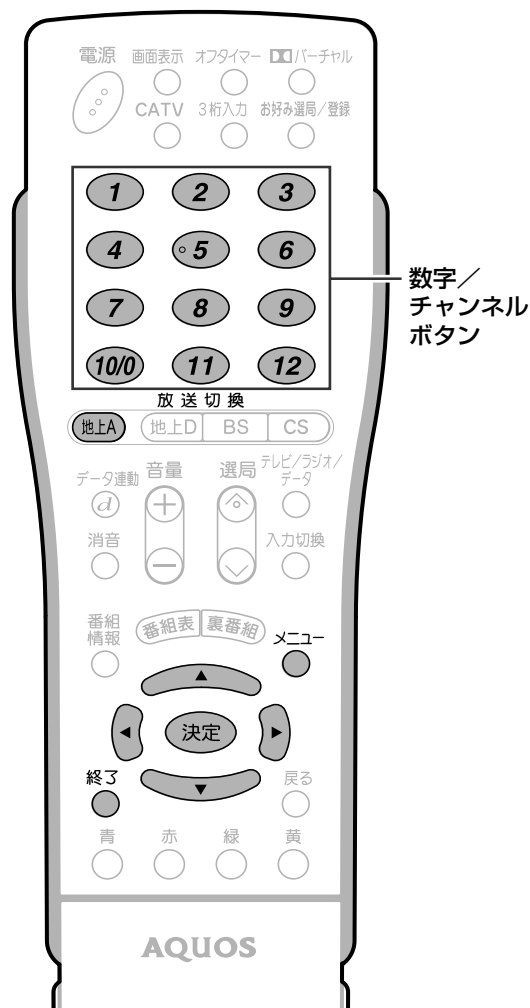
- 見つかった放送チャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルが1つも見つからなかった場合は、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。

## 7 サーチが終ると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順2の状態に戻ります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※この間に電源を切らないでください。

## 地域番号設定

- 「地域番号早見表」(30～31ページ)、「地域番号一覧表」(32～35ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認したうえで、お住まいの地域にもっとも近い都市名の地域番号を入力してください。



- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

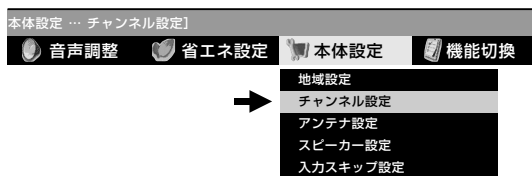
操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

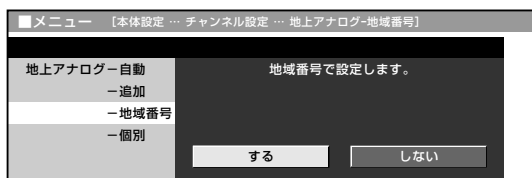
[例] 東京都八王子市にお住まいの場合  
(地域番号「104」を設定する)

## 操作開始

- ① **地上A** を押し、**地上アナログ放送を選ぶ**
- ② **メニュー** を押し、**メニュー画面を表示する**
- ③ **左右カーソル** で「**本体設定**」を選ぶ
- ④ **上下カーソル** で「**チャンネル設定**」を選び、**決定** を押す



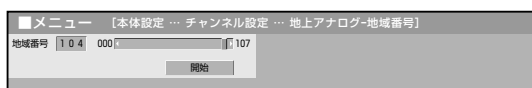
- ① **上下カーソル** で「**地上アナログ**」を選び、**決定** を押す
- ② **上下カーソル** で「**地上アナログ—地域番号**」を選び、**決定** を押す
- ③ **左右カーソル** で「**する**」を選び、**決定** を押す



- ① **数字ボタン(1～10/0)** で、**地域番号「104」を入力する**

●左右カーソルボタンでも入力できます。

**左右カーソル** 000 ↔ 001 ←……→ 106 ↔ 107



- ② 「**開始**」で **決定** を押す

●チャンネル設定が始まり、リモコン番号1～12に受信チャンネルが設定されます。

## 4

●チャンネル設定が終わると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順1の状態に戻ります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※この間に電源を切らないでください。



- 地域番号一覧表(32～35ページ)に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定(37ページ)をしてください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(32～35ページ)に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。(地域番号「000」は除く)

### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。



- 地域番号設定をした後、「地上アナログ—追加」(追加設定)(36ページ)を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。(UHF放送が受信できる地域など)

操作終了する場合は ▶

●1つ前に戻る場合は **戻る** を押してください。

メニュー または **終了** を押し、通常画面に戻す

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する(つづき)

## 地域番号早見表

五十音	都 市 名	地域番号	五十音	都 市 名	地域番号
あ	会 津 若 松 市	021	か	川 口 市	027
	青 森 市	010		川 越 市	027
	明 石 市	063		川 崎 市	033
	昭 島 市	030		河 内 長 野 市	061
	秋 田 市	015	き	川 西 市	064
	阿 久 根 市	095		木 更 津 市	029
	上 尾 市	027		岸 和 田 市	061
	朝 霞 市	027		北 九 州 市	084
	旭 川 市	002		北 見 市	009
	足 利 市	027		岐 阜 市	047
	厚 木 市	033		京 都 市 1	060
	網 走 市	001		京 都 市 2	098
	我 孫 子 市	029		桐 生 市	102
	尼 崎 市	061	く	釧 路 市	004
	安 城 市	054		熊 谷 市	103
い	飯 田 市	045		熊 本 市	090
	池 田 市	061		倉 敷 市	070
	生 駒 市	061		久 留 米 市	085
	石 巻 市	014	こ	呉 市	073
	和 泉 市	061		高 知 市	082
	伊 勢 崎 市	025		甲 府 市	043
	伊 丹 市	061		神 戸 市	061
	市 川 市	029		郡 山 市	019
	一 宮 市	054		小 金 井 市	030
	市 原 市	029		越 谷 市	027
	茨 木 市	061		小 平 市	030
	今 治 市	081		小 牧 市	054
	入 間 市	027		小 松 市	041
	い わ き 市	020	さ	さ い た ま 市	027
	岩 国 市	077		堺 市	061
う	宇 治 市	060		佐 賀 市	087
	宇 都 宮 市	101		酒 田 市	018
	宇 部 市	076		相 模 原 市	033
	浦 安 市	029		佐 倉 市	029
え	海 老 名 市	033		佐 世 保 市	089
	江 別 市	001		札 幌 市	001
お	青 梅 市	030		座 間 市	033
	大 分 市	091	し	狭 山 市	027
	大 垣 市	047		静 岡 市	049
	大 阪 市	061		下 関 市	075
	大 館 市	016		周 南 市	074
	大 津 市	058		上 越 市	038
	大 牟 田 市	086	す	吹 田 市	061
	岡 崎 市	054		鈴 鹿 市	057
	岡 山 市	070	せ	瀬 戸 市	054
	沖 縄 市	096		仙 台 市	013
	小 樽 市	007	そ た	草 加 市	027
	小 田 原 市	035		大 東 市	061
	小 帯 市	005		高 岡 市	040
	小 山 市	027		高 崎 市	025
か	各 務 原 市	106		高 槻 市	061
	加 古 川 市	063		高 松 市	078
	鹿 児 島 市	094		高 塚 市	061
	樺 原 市	065		立 川 市	030
	柏 市	029		多 摩 市	105
	春 日 井 市	054	ち	茅 ヶ 崎 市	034
	春 日 部 市	027		千 葉 市	029
	門 真 市	061		調 布 市	030
	金 沢 市	041		津 市	057
	鎌 倉 市	033	つ	つ く ば 市	029
	刈 谷 市	054		土 浦 市	029



・地域番号設定

お住まいの地域番号を入力すると、お住まいの地域の放送を受信して記憶します。

五十音	都 市 名	地域番号	五十音	都 市 名	地域番号
つと	鶴 岡 市	018	ひふ	弘 前 市	010
	東 京 2 3 区	030		広 島 市	071
	徳 島 市	097		福 井 市	042
	所 沢 市	027		福 岡 市	083
	鳥 取 市	067		福 島 市	019
	苫 小 牧 市	006		福 山 市	072
	富 山 市	039		藤 枝 市	053
	豊 川 市	055		藤 沢 市	033
	豊 田 市	056		富 士 市	051
	豊 中 市	061		富 士 宮 市	051
	豊 橋 市	055		府 中 市 ( 東 京 )	030
	富 田 林 市	061		船 橋 市	029
な	長 岡 市	037	へほま	別 府 市	091
	長 崎 市	088		防 府 市	074
	長 野 市	044		前 橋 市	025
	流 山 市	029		町 田 市	033
	名 古 屋 市	054		松 江 市	068
	那 覇 市	096		松 阪 市	057
	奈 良 市	065		松 戸 市	029
	習 志 野 市	029		松 原 市	061
に	新 潟 市	037	み	松 本 市	046
	新 座 市	027		松 山 市	079
	新 居 浜 市	080		三 郷 市	027
	西 宮 市	061		三 島 市	052
ぬ	沼 津 市	052		三 鷹 市	030
ね	寝 屋 川 市	061		水 戸 市	022
の	野 田 市	029		都 城 市	092
	延 岡 市	093		宮 崎 市	092
は	函 館 市	003	む	武 蔵 野 市	030
	秦 野 市	036		室 蘭 市	008
	八 王 子 市	104	も	盛 岡 市	012
	八 戸 市	011		守 口 市	061
	羽 曳 野 市	061	や	矢 板 市	100
	浜 田 市	069		焼 津 市	049
	浜 松 市	050		八 尾 市	061
	半 田 市	054		八 千 代 市	029
ひ	東 大 阪 市	061		八 千 代 市	090
	東 久 留 米 市	030		山 形 市	017
	東 村 山 市	030		山 口 市	074
	彦 根 市	059		大 和 市	033
	日 立 市	023	よ	横 須 賀 市	033
	ひ た ち な か 市	022		横 浜 市	033
	日 野 市	030		四 日 市	057
	姫 路 市	062		米 子 市	068
	枚 方 市	061	わ	和 歌 山 市 1	107
	平 塚 市	034		和 歌 山 市 2	099



- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(32～35ページ)に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。(地域番号「000」は除く)
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、追加設定(36ページ)もしくは個別設定(37ページ)をしてください。







	リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名										
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本	19	37
	北九州	084	1 九州朝日放送	2	23 TVQ九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9 テレビ西日本	10	11 NHK教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ九州放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TVQ九州放送	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送
佐賀	佐賀	087	19 TVQ九州放送	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	(NHK総合)	10	11 熊本放送
長崎	長崎	088	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ
	佐世保	089	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8	9 NHK総合	10	11 長崎放送
熊本	熊本	090	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送
大分	大分	091	1 (NHK教育)	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5	6 大分テレビ	36 (NHK総合)	32 テレビ大分	24 テレビ愛媛	10	11 大分朝日放送
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8	9 NHK総合	10	11 宮崎放送
	延岡	093	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11 NHK教育
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ
	阿久根	095	1	30 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8	9 NHK総合	10	11 南日本放送
沖縄	那覇	096	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10	11 琉球放送テレビ



- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。  
(2005年3月現在)

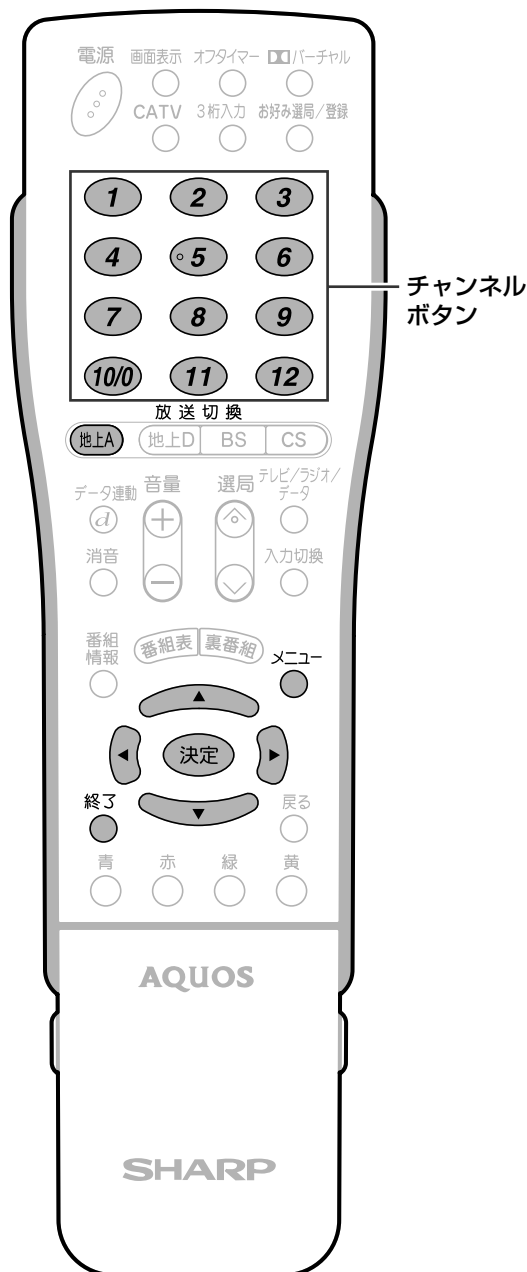
## その他の地域番号 (\*印のチャンネルはスキップされません。)

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	*29	2	*27	*25	5	*23	7	*21	*31	*19	11	*17
026	*43	2	*45	*39	*40	*37	7	*35	9	*33	*41	*31
028	*33	2	*35	*25	5	*23	*16	*21	*28	*19	11	*17
031	*51	2	*49	*53	*47	*55	7	*57	9	*59	11	*61
032	*30	2	*32	*26	*28	*24	7	*22	9	*20	11	*18
048	*1	2	*3	4	*5	6	*35	8	*9	10	*11	*28
066	1	*32	3	*42	5	*44	7	*46	9	*48	*30	*26

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する(つづき)

## 追加設定

- 現在登録されているチャンネルを消さずに残したまま、空きチャンネルに追加登録できる放送局がないか探します。地域番号設定の後で空きチャンネルに追加登録したいときなどは、追加設定で行います。



### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に下記の操作を行ってください。

## 操作開始

1 **地上A** を押し、地上アナログ放送を選ぶ

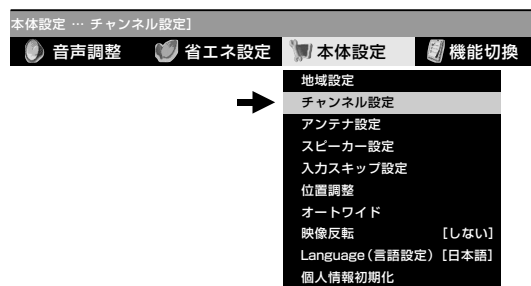
1

2 ① **メニュー** を押し、メニュー画面を表示する

2

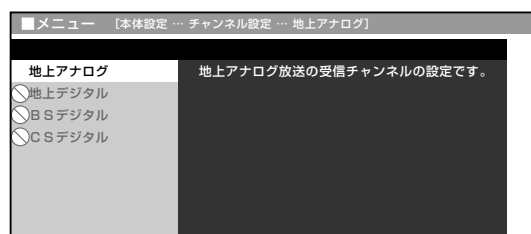
② **左/右** で「本体設定」を選ぶ

③ **上/下** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す



3

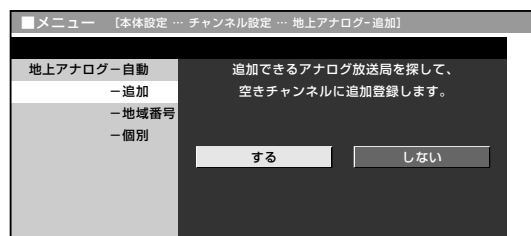
③ **上/下** で「地上アナログ」を選び、**決定** を押す



4

① **上/下** で「地上アナログ-追加」を選び、**決定** を押す

② **左/右** で「する」を選び、**決定** を押す



次ページへ



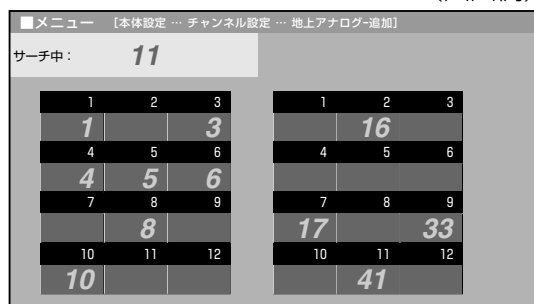


- 個別設定  
自動設定や地域番号設定で受信できなかったチャンネルや新たに追加したいチャンネルを個別に設定します。

5

- 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。

(画面例)



- 見つかった放送チャンネルが右側に表示されていきます。
- 放送チャンネルが1つも見つからなかった場合は、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。

6

- サーチが終ると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順2の状態に戻ります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。
- ※この間に電源を切らないでください。

## 個別設定

- 地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。(受信できる放送局を自動で探し追加登録する場合は、追加設定(36ページ)をお試しください。)
- ふだん使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくとう便利です。

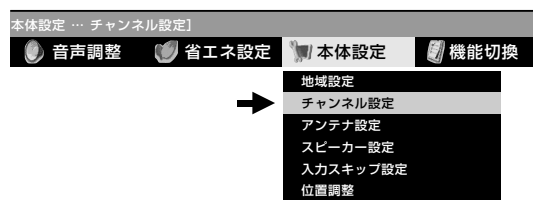
[例] 地上アナログ放送受信時にチャンネルボタン<sup>⑤</sup>(リモコン番号「5」)を押すとUHF放送「42」チャンネルが選局できるように設定する

### 操作開始

- ① <sup>⑤</sup>地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ
- ② チャンネルボタン<sup>⑤</sup>を押す

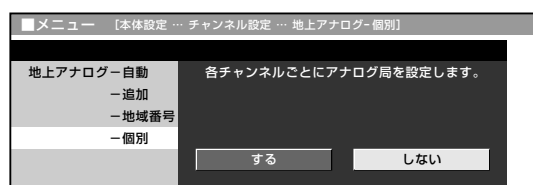
2

- ① <sup>メニュー</sup>を押し、メニュー画面を表示する
- ② <sup>左</sup><sup>右</sup>で「本体設定」を選ぶ
- ③ <sup>上</sup><sup>下</sup>で「チャンネル設定」を選び、<sup>決定</sup>を押す



3

- ① <sup>上</sup><sup>下</sup>で「地上アナログ」を選び、<sup>決定</sup>を押す
- ② <sup>上</sup><sup>下</sup>で「地上アナログ一個別」を選び、<sup>決定</sup>を押す



次ページへ

次ページへつづく

- 1つ前に戻る場合は<sup>戻る</sup>を押してください。

操作終了する場合は

<sup>メニュー</sup> または <sup>終了</sup> を押し、通常画面に戻す

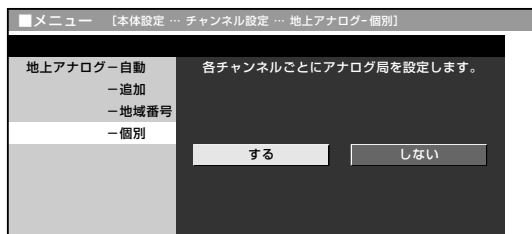
地上アナログ放送のチャンネルを設定する(つづき)

設定

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する(つづき)

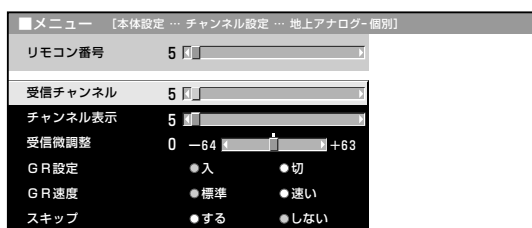
4

で「する」を選び、決定を押す



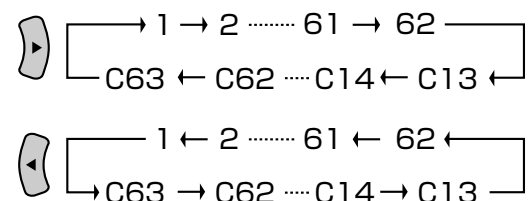
5

で「受信チャンネル」を選ぶ



6

で「42」を選ぶ



これでチャンネルボタン(5)に42チャンネルが設定されました。



メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に下記の操作を行ってください。

## CATV(ケーブルテレビ)放送について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルを選局(入順/V逆)ボタンで選局できるようにするには、個別設定のチャンネルスキップを「しない」にしてください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13~C63チャンネルの範囲で選局できます。
- 「受信チャンネル」のところ(手順6)で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

## 視聴しないチャンネルをスキップする

- あらかじめチャンネルスキップを設定しておく、選局(入順/V逆)ボタンで選局するときに、空きチャンネル(放送のないチャンネル)や受信状態の悪いチャンネルを飛び越して(スキップして)選局することができます。

## CATVチャンネルを設定する

- CATVチャンネル(C13~C63)は、工場出荷時にチャンネルスキップ「する」の状態になっています。チャンネルスキップ「しない」(解除)にすると、本体とリモコンの選局(入順/V逆)ボタンで選局ができるようになります。

[例] 地上アナログ放送のチャンネル「11」をスキップ設定する

### 操作開始

- 地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ
- チャンネルボタン(11)を押す

次ページへ

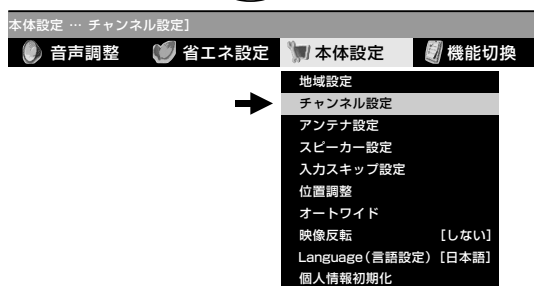
1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は

メニュー または 終了を押し、通常画面に戻す

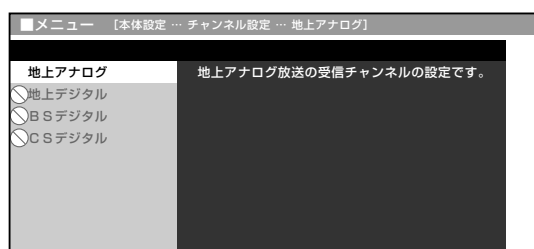
2

- ① を押し、メニュー画面を表示する
- ② で「本体設定」を選ぶ
- ③ で「チャンネル設定」を選び、 を押す



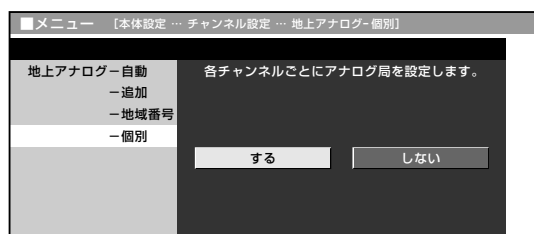
3

- ③ で「地上アナログ」を選び、 を押す



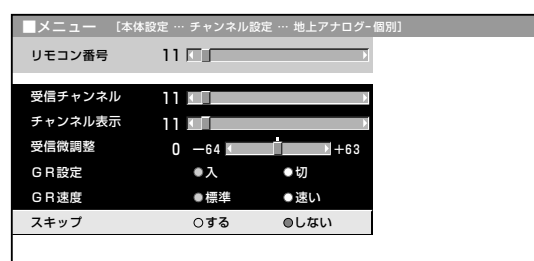
4

- ① で「地上アナログ-個別」を選び、 を押す
- ② で「する」を選び、 を押す



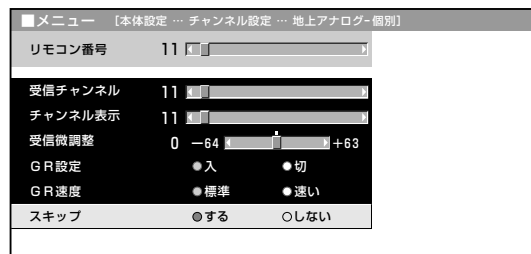
5

- ③ で「スキップ」を選ぶ



6

- ④ で「する」を選ぶ



- チャンネルスキップを解除するときは、「しない」を選びます。
- これで、選局(入順/V逆)ボタンで選局操作を行ったとき、11チャンネルをスキップします。



#### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

#### CATVチャンネルのスキップ解除

- ① 手順1~4を行った後、手順5の画面において、上下カーソルボタンで「リモコン番号」を選びます。
- ② 左右カーソルボタンでカーソルを移動させ、チャンネルスキップを解除したいCATVチャンネルを選びます。
- ③ 上下カーソルボタンで「スキップ」を選びます。
- ④ 左右カーソルボタンで「しない」を選びます。

### 画面のチャンネル表示を変える

- 実際の使用状況に合わせて、画面に表示されるチャンネル番号を変えることができます。

【例】地上アナログ放送受信時にチャンネルボタン⑥を押したときのチャンネル表示「6」を「48」に変える

#### 操作開始

- ① を押し、地上アナログ放送を選ぶ
- ② チャンネルボタン⑥を押す

次ページへ

次ページへつづく

- 1つ前に戻る場合は を押してください。

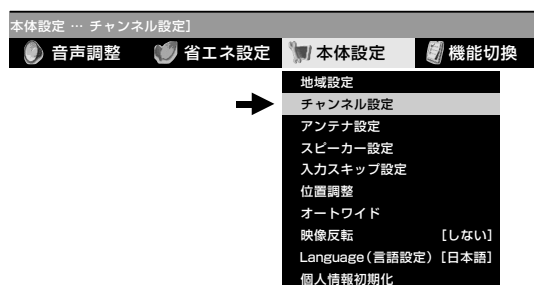
操作終了する場合は

または を押し、通常画面に戻す

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する(つづき)

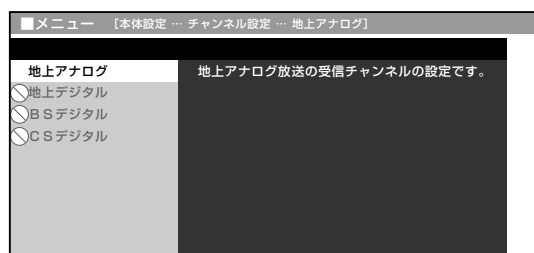
2

- ① を押し、メニュー画面を表示する
- ② で「本体設定」を選ぶ
- ③ で「チャンネル設定」を選び、 を押す



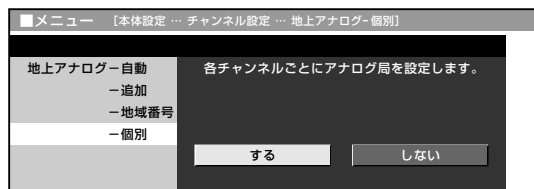
3

- ③ で「地上アナログ」を選び、 を押す



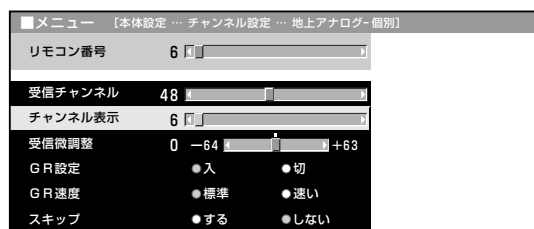
4

- ① で「地上アナログ一個別」を選び、 を押す
- ② で「する」を選び、 を押す



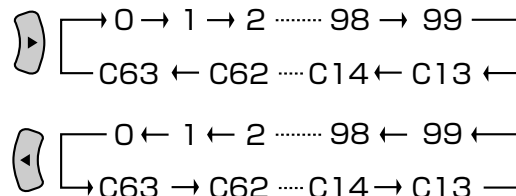
5

- ③ で「チャンネル表示」を選ぶ



6

- ④ で、表示したいチャンネル番号「48」を選ぶ



- これで、チャンネルボタン「6」を選局すると、チャンネルサイン(画面表示)に「48」と表示されます。

## 受信状態を微調整する

- 受信状態によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

[例] チャンネルボタン⑥の地上アナログ放送の受信状態を微調整する

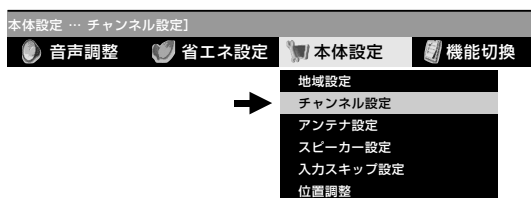
## 操作開始

1

- ① を押し、地上アナログ放送を選ぶ
- ② チャンネルボタン⑥を押す

2

- ① を押し、メニュー画面を表示する
- ② で「本体設定」を選ぶ
- ③ で「チャンネル設定」を選び、 を押す



次ページへ

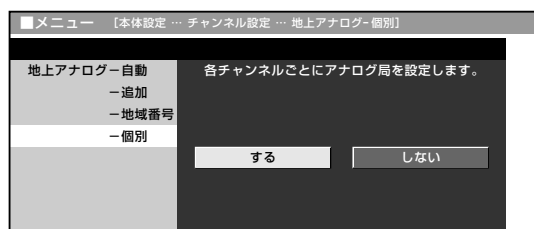
- 1つ前に戻る場合は を押してください。

操作終了する場合は

または を押し、通常画面に戻す

3

- ①   で「地上アナログ」を選び、**決定**を押す
- ②   で「地上アナログ—個別」を選び、**決定**を押す
- ③   で「する」を選び、**決定**を押す



4

- ④   で「受信微調整」を選ぶ



5

- ⑤   で、見やすい映像に調整する

- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。
- 64~0~+63の範囲で調整できます。



## チャンネル設定に関する用語

### ■ リモコン番号

リモコンのチャンネルボタン(①~⑫)の番号です。

### ■ 受信チャンネル

放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

### ■ チャンネル表示

テレビ画面に表示されるチャンネル(番号)のことです。ご使用の地域で使われている、使い慣れたチャンネル表示に変えることができます。

### ■ 受信微調整

ご使用になる地域によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときに調整します。

### ■ スキップ

スキップを「する」にしておくと、選局(入順/V逆)ボタンで選局するときに、空きチャンネル(放送のないチャンネル)を飛び越して(スキップして)選局できるようになります。

### ■ お好みチャンネル

地上アナログ、地上デジタル、BS、CSの各放送ネットワークのメディアから、お好み選局/登録画面にお好みチャンネルとして12局が登録できます。

●1つ前に戻る場合は<sup>戻る</sup>を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または <sup>終了</sup> を押し、通常画面に戻す

# B-CASカードについて

- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送では、B-CAS(ビーキャス)カードを利用した限定受信システム(=CAS)を採用しています。  
付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
- B-CASカードは、必ず登録してください。(登録は無料です。)
- スカパー！110、WOWOWデジタルプラス、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。



## B-CASカードおよびコピー制御信号についてのお知らせ

デジタル放送を視聴するときには、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 2004年4月から、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用しています。
- B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなっています。
- B-CASカードを挿入していただくことで、NHKも無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。

デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。

- この信号とともにデジタル録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません。

コピー制御お問合せセンター

電話：0570-000-288 (午前10時～午後8時) (2005年10月現在)

# B-CASカードを入れる

## B-CAS カードの入れかた

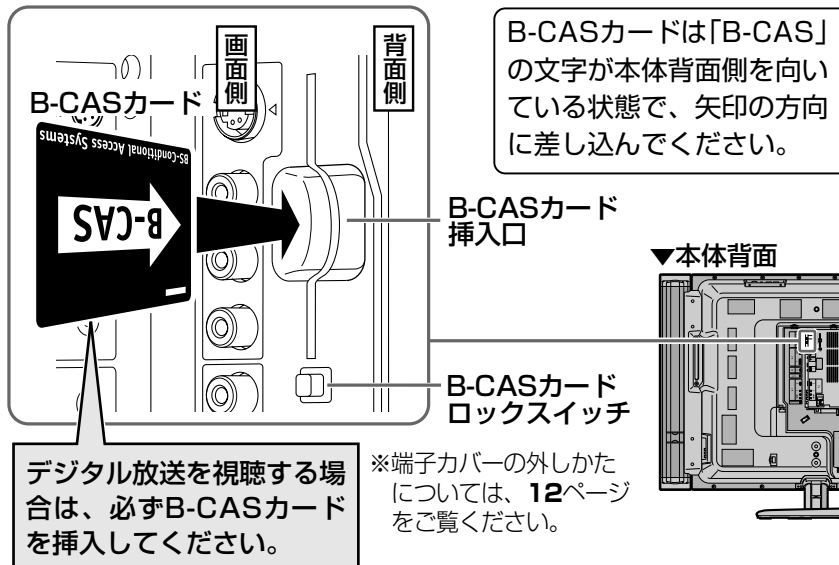
リモコンでいったん電源を「切」にして、以下の手順で挿入します。

- ① B-CASカードを表面の矢印の方向に差し込む。(奥まで確実に挿入してください。)
- ② B-CASカードロックスイッチを左にスライドさせ、「ロック」位置にする。

← カード挿入後、必ずロックしてください。  
 ロックしないと、B-CASカードは動きません。

- ③ 再度、リモコンで電源を入れます。

## ▼本体背面の端子カバーを外したところ



B-CASカードは「B-CAS」の文字が本体背面側を向いている状態で、矢印の方向に差し込んでください。

## B-CASカードについて

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2004年12月現在) 詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。(カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。)

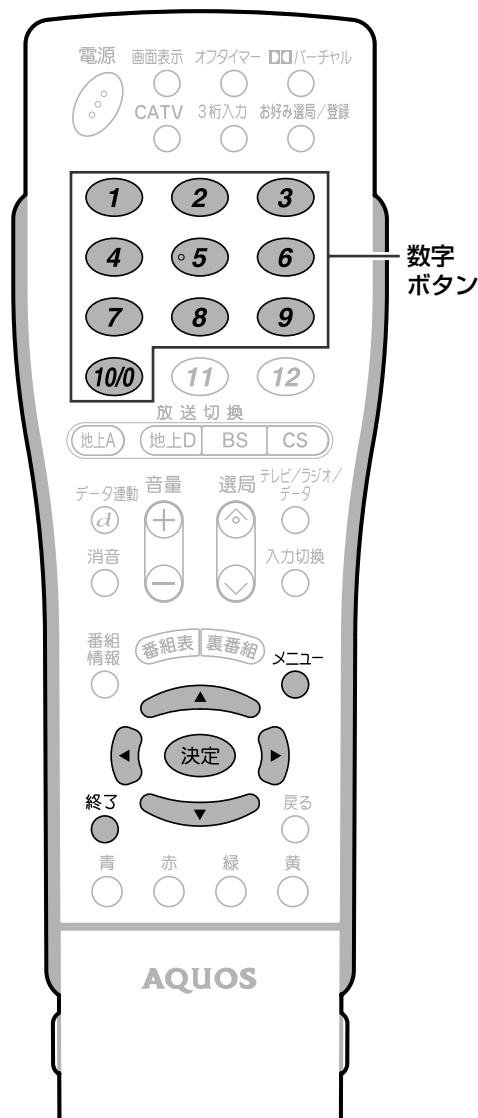
## 取扱い上のご注意

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは上記の手順どおり、本機のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、B-CASカードロックスイッチを右にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

# 地域設定をする

## 地域と郵便番号を設定する

- 地上デジタル放送チャンネルを受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。チャンネル設定の前に、必ず地域設定をしてください。(工場出荷時は関東の東京に設定されています。)
- デジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。



### メニュー画面について

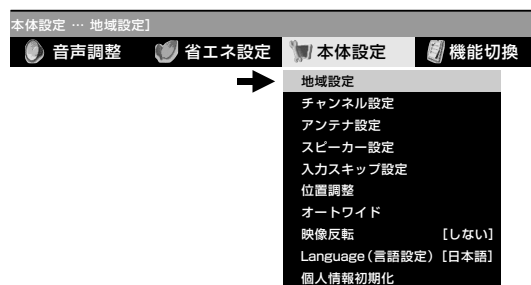
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に下記の操作を行ってください。

## 地域選択

B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。(42・43ページ)

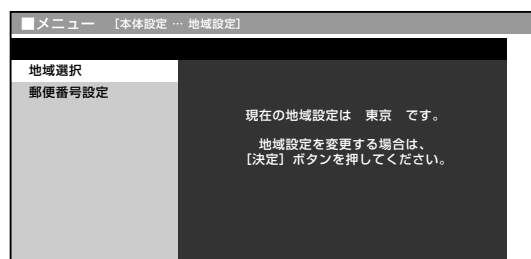
### 操作開始

- ① を押し、メニュー画面を表示する
- ② で「本体設定」を選ぶ
- ③ で「地域設定」を選び、 を押す

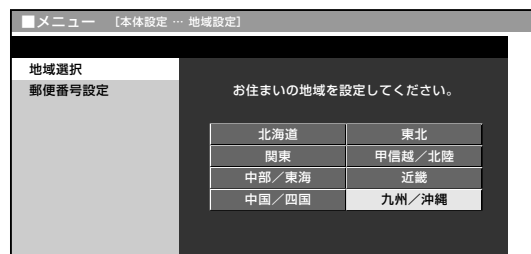


- 地域設定画面が表示されます。

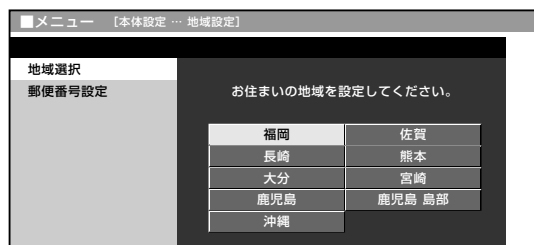
- ② で「地域選択」を選び、 を押す



- ③ お住まいの地域を で選び、 を押す

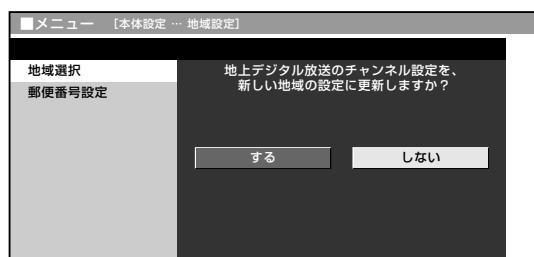


## 4 お住まいの都道府県を で選び、**決定** を押す



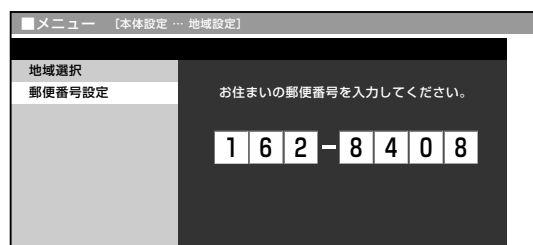
5 関東・中部／東海・近畿の一部の都府県を選択した場合は、手順4の後につぎの画面が表示されます。



  で「する」を選び、**決定** を押す



## 郵便番号設定

6   で「郵便番号設定」を選び、**決定** を押す




7 数字ボタン(  ～  )で郵便番号を入力し、**決定** を押す



- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。

地域設定をする

設定

- 1つ前に戻る場合は  を押してください。

操作終了する場合は   または  を押し、通常画面に戻す

# 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

## 地上デジタル放送のチャンネル設定について

- 地上デジタル放送を視聴するためのチャンネル設定です。お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されてから行ってください。
- チャンネル設定をする前に、必ず地域設定(44ページ)をお住まいの地域に設定しておいてください。(工場出荷時は、東京都心で放送が受信できるように設定されています。)

メニュー項目	内 容
地上デジタルー自動 ☞ 47 ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お住まいの地域で受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動登録するときを選びます。</li> <li>● 最初のチャンネル設定は、必ず「自動」で行ってください。また、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合も再度、自動登録をしてください。</li> </ul>
地上デジタルー追加 ☞ 48 ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加登録するときを選びます。</li> <li>● すでに登録されているチャンネルはそのまま残ります。</li> </ul>
地上デジタルー個別 ☞ 50 ～ 53 ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録した放送チャンネルをリスト表示して、確認することができます。</li> <li>● 登録したチャンネルの、番号重複時の変更や選局(入順/V逆)ボタンでのチャンネルスキップを設定することができます。</li> </ul>

## 地上デジタル放送の受信チャンネル番号・枝番について

- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン(①～⑫)のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複するケースがあります。このケースでは、さらにもう1桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。

## 地上デジタル放送のCATV放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は、「パススルー方式」\*(UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯)です。

※CATVパススルー方式とは：CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV網に流す放送方式です。

この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。

※トランスモジュレーション方式には対応していません。

## 自動登録

- 初めて受信チャンネルを登録するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合は「自動登録」を行います。
- チャンネル設定の前に、必ず地域設定(44ページ)をしてください。(工場出荷時は関東の東京に設定されています。)



### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- メニュー画面の表示内容は、変更される場合があります。

B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。(42・43ページ)

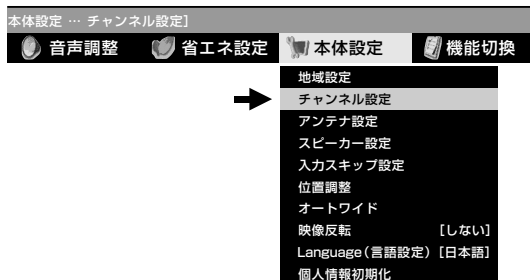
## 操作開始

1 **地上D** を押し、地上デジタル放送を選ぶ

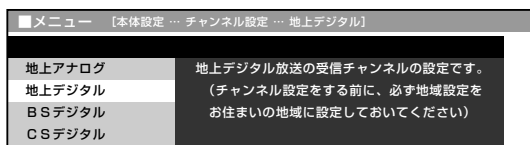
2 ① **メニュー** を押し、メニュー画面を表示する

② **左右** で「本体設定」を選ぶ

③ **上下** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

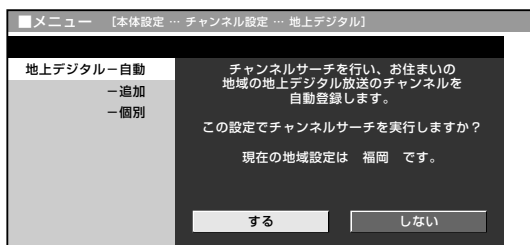


3 **上下** で「地上デジタル」を選び、**決定** を押す



4 ① **上下** で「地上デジタルー自動」を選び、**決定** を押す

② **左右** で「する」を選び、**決定** を押す



地上デジタル放送のチャンネルを設定する

設定

次ページへ

次ページへつづく

● 1つ前に戻る場合は **戻る** を押してください。

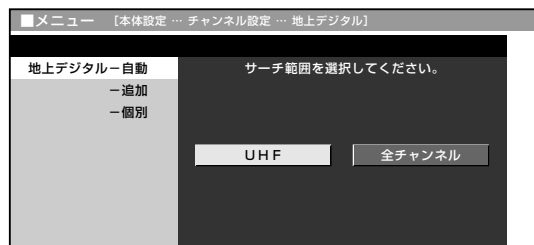
操作終了する場合は

**メニュー** または **終了** を押し、通常画面に戻す

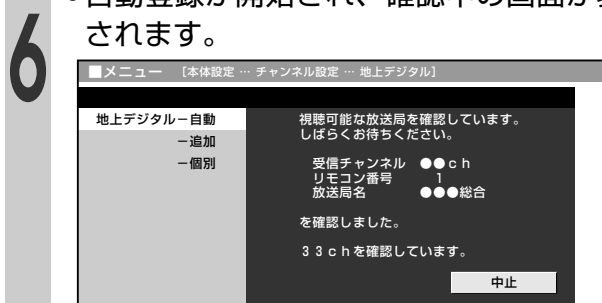
# 地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

## 5 (◀▶)でサーチ範囲を選び、(決定)を押す

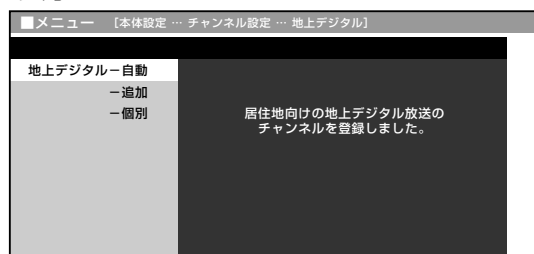
「UHF」… 通常はこちらを選びます。  
「全チャンネル」… CATVパススルー※の場合  
に選びます。



- 自動登録が開始され、確認中の画面が表示されます。



- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示されます。



## 追加登録

- 自動登録で設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加するときに行います。



### ※CATVパススルーとは

- CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は▶

(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

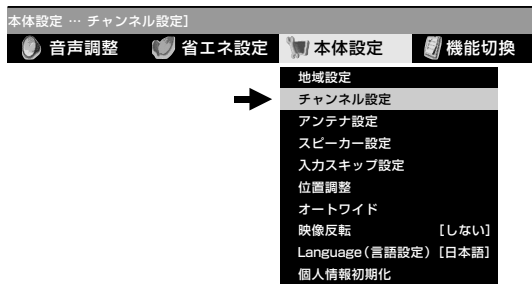
## 操作開始

1 **地上D** を押し、地上デジタル放送を選ぶ

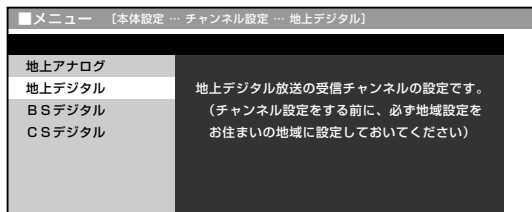
2 ① **メニュー** を押し、メニュー画面を表示する

② **左** で「本体設定」を選ぶ

③ **上** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

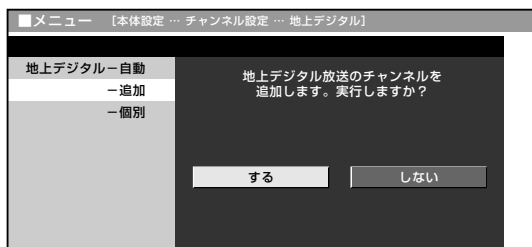


3 **上** で「地上デジタル」を選び、**決定** を押す



4 ① **上** で「地上デジタルー追加」を選び、**決定** を押す

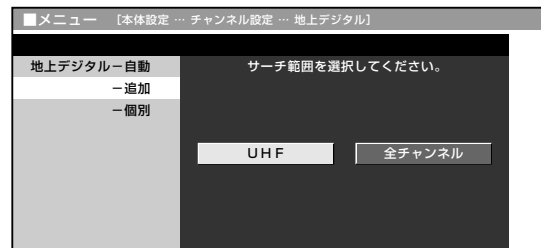
② **左** で「する」を選び、**決定** を押す



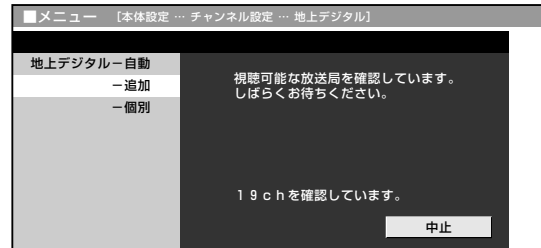
5 **左** でサーチ範囲を選び、**決定** を押す

「UHF」… 通常はこちらを選びます。

「全チャンネル」… CATVパススルーの場合に選びます。



6 追加登録が開始され、確認中の画面が表示されます。



追加登録が終了すると、追加終了の画面が表示されます。



7 「終了」で **決定** を押す

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

設定

• 1つ前に戻る場合は **戻る** を押してください。

操作終了する場合は

**メニュー** または **終了** を押し、通常画面に戻す

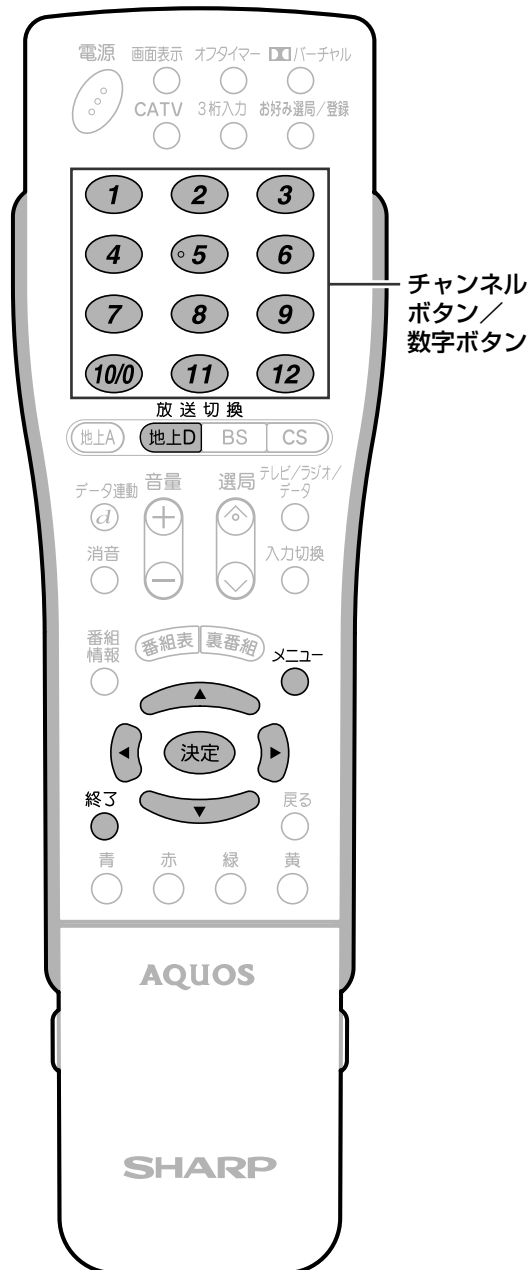
# 地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

■登録した地上デジタル放送のチャンネルは、つぎの3つの項目につき、設定内容を変更することができます。(個別設定)

「数字ボタン」..... 登録先のリモコン数字ボタンを変更します。

「枝番」..... チャンネル番号の4桁め(枝番)を変更します。

「スキップ」..... 選局(ハ順/V逆)ボタンでの選局時に、スキップするかしないかを設定します。



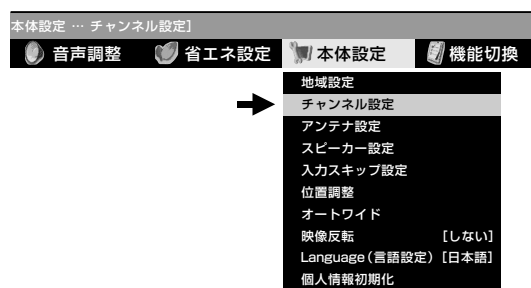
## 登録先の数字ボタンを変更する

■登録した放送チャンネルの、登録先リモコン数字ボタンを他の数字ボタンに変更することができます。

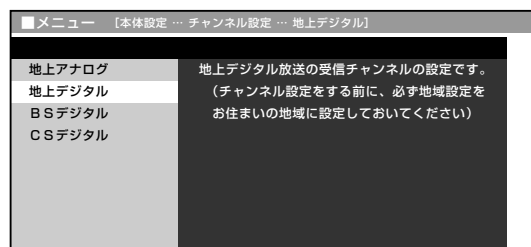
### 操作開始

1 **地上D** を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 ① **メニュー** を押し、メニュー画面を表示する  
 ② **左/右** で「本体設定」を選ぶ  
 ③ **上/下** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す



3 **上/下** で「地上デジタル」を選び、**決定** を押す



次ページへ

4

で「地上デジタルー個別」を選び、**決定**を押す



8

で「確認」を選び、**決定**を押す



- 放送チャンネルリストの表示が変更されます。

5

で、変更したい放送チャンネルを選び、**決定**を押す



- 手順7の後、入力した数字が他チャンネルの数字ボタンと重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。戻るボタンを押してから、置き換える数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 手順6、7、8のそれぞれの画面で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

6

で「数字ボタン」を選び、**決定**を押す

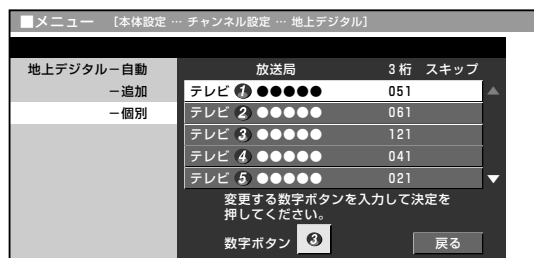


- 数字ボタン入力欄が表示されます。

7

変更する数字ボタンの番号を、チャンネルボタン(1~12)で入力し、**決定**を押す

[例] 3に変更する場合、**3**を押す



- 1つ前に戻る場合は<sup>戻る</sup>を押してください。

操作終了する場合は

メニュー または <sup>終了</sup> を押し、通常画面に戻す

# 地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

## 枝番を変更する

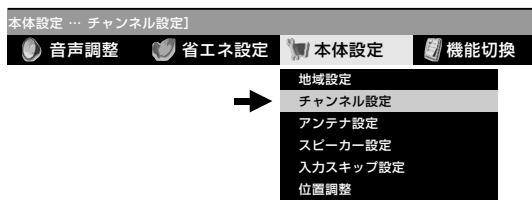
- 受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別することができます。

### 操作開始

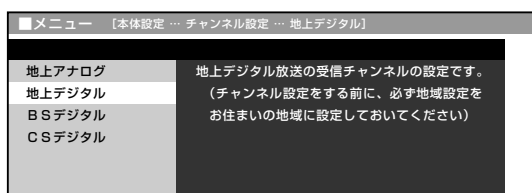
1 **地上D** を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 ① **メニュー** を押し、メニュー画面を表示する

② **左右** で「本体設定」を選ぶ  
③ **上下** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す



3 **上下** で「地上デジタル」を選び、**決定** を押す



4 ① **上下** で「地上デジタル—個別」を選び、**決定** を押す

② **上下** で、変更したい放送チャンネルを選び、**決定** を押す



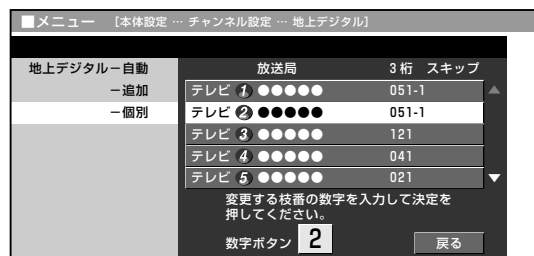
5 **左右** で「枝番」を選び、**決定** を押す



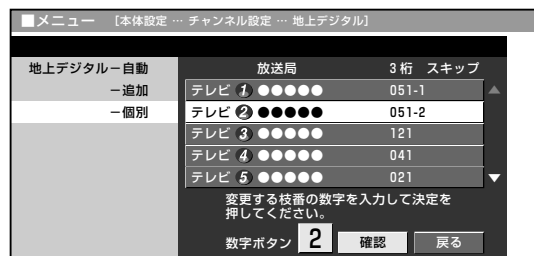
- 枝番入力欄が表示されます。

6 変更する枝番の数字を、数字ボタン(1~9)で入力し、**決定** を押す

[例] 枝番に2を設定する場合、**2** を押す



7 **左右** で「確認」を選び、**決定** を押す



- チャンネルの枝番が変更されます。

おしらせ

- 手順6の後、入力した枝番の数字が他チャンネルの枝番と重複している場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。戻るボタンを押してから、置き換える枝番の数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 手順5、6、7のそれぞれの画面で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

- 1つ前に戻る場合は<sup>戻る</sup>を押してください。

操作終了する場合は

**メニュー** または <sup>終了</sup> を押し、通常画面に戻す

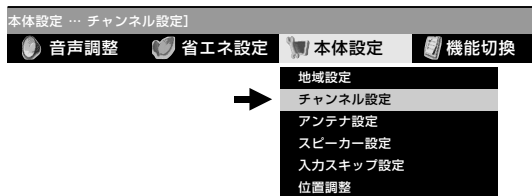
## 視聴しないチャンネルをスキップする

- 選局ボタン(△順／▽逆)でチャンネル選局をしたときに、視聴しない放送チャンネルなどを飛ばして選局するよう、設定することができます。

### 操作開始

#### 1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

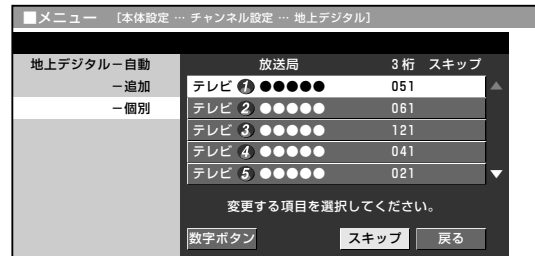
- ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
- ② 左右で「本体設定」を選ぶ
- ③ 上下で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す



- ① 上下で「地上デジタル」を選び、決定 を押す
- ② 上下で「地上デジタル—個別」を選び、決定 を押す
- ③ 上下で、スキップ設定したい放送チャンネルを選び、決定 を押す



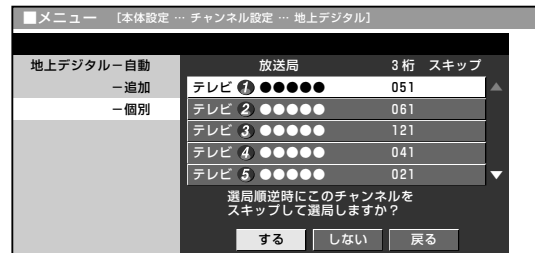
#### 4 左右で「スキップ」を選び、決定 を押す



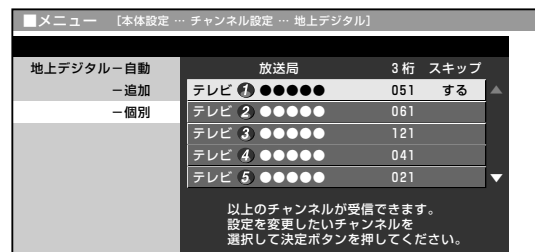
- スキップ選択画面が表示されます。

#### 5 左右で「する」を選び、決定 を押す

- スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。



#### 6 放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。



地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

設定

- 1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

# デジタル放送を視聴するための設定をする

## アンテナ設定

- BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや引っ越しなどでデジタル放送用のアンテナを移動したときなどは、アンテナ設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。



### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま1分間経過しても消えません。消すときは、メニューまたは終了ボタンを押してください。

## アンテナ設定画面を表示する

【例】BSデジタル放送のアンテナ設定をする

### 操作開始

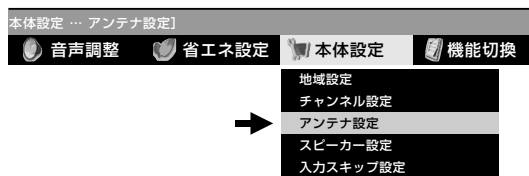
1 **BS** を押し、**BSデジタル放送を選ぶ**

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。

2 ① **メニュー** を押し、**メニュー画面を表示する**

② **左右** で「**本体設定**」を選ぶ

③ **上下** で「**アンテナ設定**」を選び、**決定** を押す



- アンテナ設定画面が表示されます。

## アンテナに電源を供給する

地上デジタル放送ではアンテナ電源入／切の設定はありません。

3 ① 「**電源・受信強度表示**」で **決定** を押す

② **左右** で「**電源連動**」「**入**」「**切**」のいずれかを選ぶ



「電源連動」・・・本機の電源入・切に連動してアンテナに電源を供給します。

「入」……………個人でアンテナを設置・接続している場合

「切」……………電源を供給しないときの設定（共聴アンテナに接続している場合など）（工場出荷時の設定）

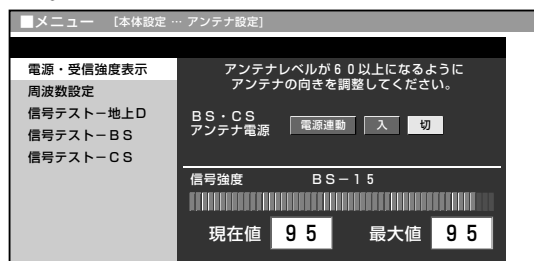
## 受信強度を確認・調整する

4

(アンテナの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

### アンテナレベルが最大になるようにアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル(信号強度)が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。



5

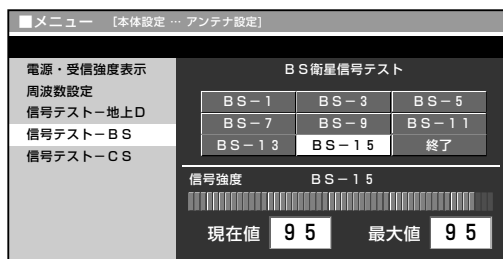
決定を押す

- 共聴アンテナなどに接続したときの設定を誤って「入」にして、「アンテナ線がショートしています。」などのおしらせが表示されたときは、設定を「切」に変更してください。

## 信号テスト

6

で「信号テスト-B S」を選び、決定を押す



- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。(表示される数値は、受信C/Nの換算値です。)

7

「BS-1」～「BS-15」のうち、確認したい項目を で選び、決定を押す

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-13」「BS-15」です。(2004年12月現在)



- アンテナレベル(信号強度)が60以上あることを確認してください。

8

で「終了」を選び、決定を押す



### 地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の信号テスト

手順6で「信号テスト-地上D」または「信号テスト-C S」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

### 周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障したりした場合など、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。通常は、設定する必要はありません。

デジタル放送を視聴するための設定をする

設定

- 1つ前に戻る場合は を押してください。

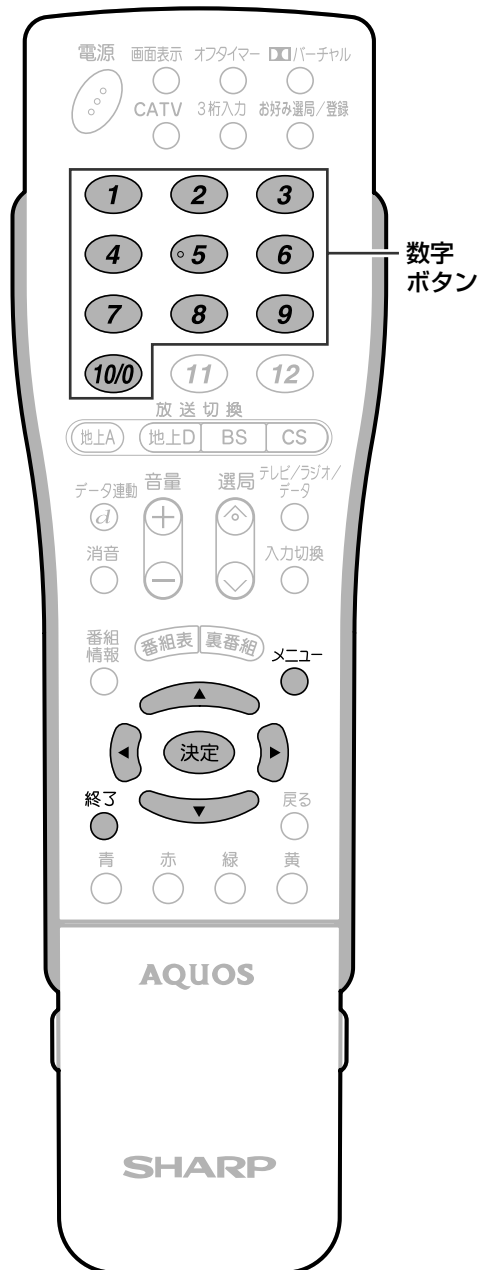
操作終了する場合は

メニュー または を押し、通常画面に戻す

# デジタル放送を視聴するための設定をする(つづき)

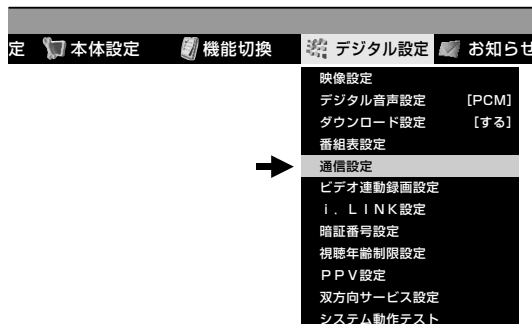
## 電話回線の設定

- お使いになっている電話回線の設定をします。  
電話回線が接続されていることを確認してください。(20ページ参照)

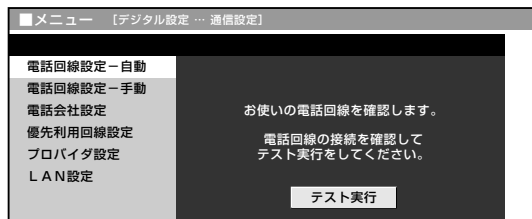


## 操作開始

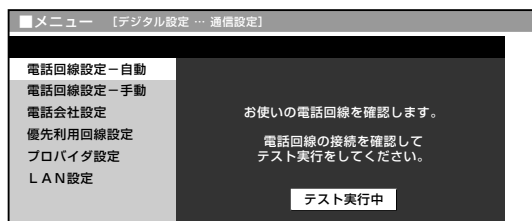
- ① を押し、メニュー画面を表示する
- ② で「デジタル設定」を選ぶ
- ③ で「通信設定」を選び、 を押す



- ① で「電話回線設定 - 自動」を選び、 を押す
- ② 「テスト実行」で を押す



- 「テスト実行中」が表示されます。



- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(57ページ「外線発信番号の設定」をしてください。)





- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最大7分程度かかる場合があります。

### メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

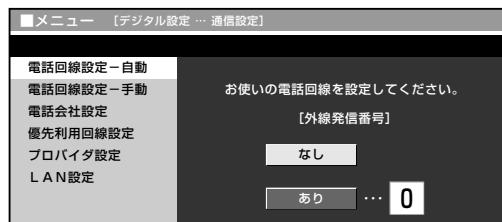
- 電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、つぎの設定を行ってください。

## 外線発信番号の設定

1   で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、**決定**を押す

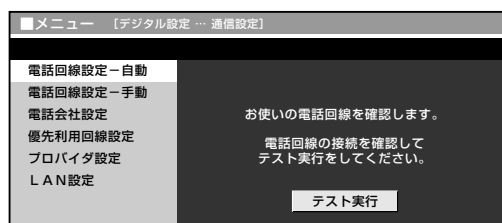
「なし」……外線交換機を使用しない場合  
(通常の一般家庭)

「あり」……電話交換機などをご使用の場合



- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(①～⑩/0)で、外線発信番号(0～9)を右のボックスに入力してから、決定ボタンを押します。

## 2 「テスト実行」で**決定**を押す



- 「テスト実行」→「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。


どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

**ご注意**

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。
- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社にご確認ください。

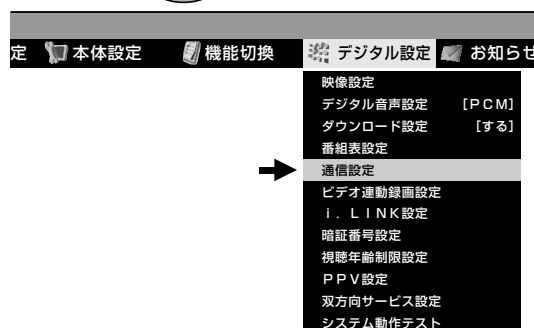
- どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

## 手動による電話回線設定

1  を押し、メニュー画面を表示する

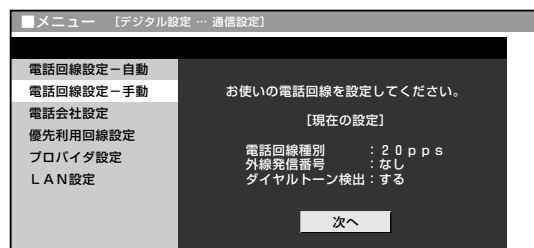
2   で「デジタル設定」を選ぶ

3   で「通信設定」を選び、**決定**を押す



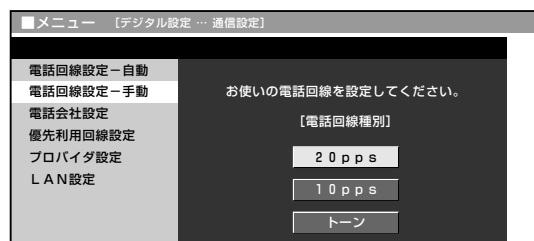
1   で「電話回線設定-手動」を選び、**決定**を押す

2 「現在の設定」を確認し、「次へ」で**決定**を押す



3   で選び、**決定**を押す

- 契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。



次ページへ

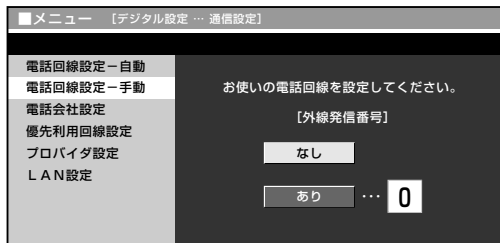
次ページへつづく

デジタル放送を視聴するための設定をする(つづき)

設定

# デジタル放送を視聴するための設定をする(つづき)

## 4 ① で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

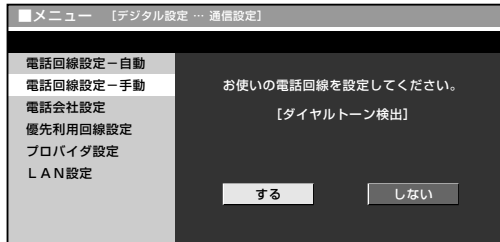


- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(①～10/0)で、外線発信番号(0～9)を右のボックスに入力してください。

### ② 決定を押す

## 5 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を で選び、決定を押す

- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。



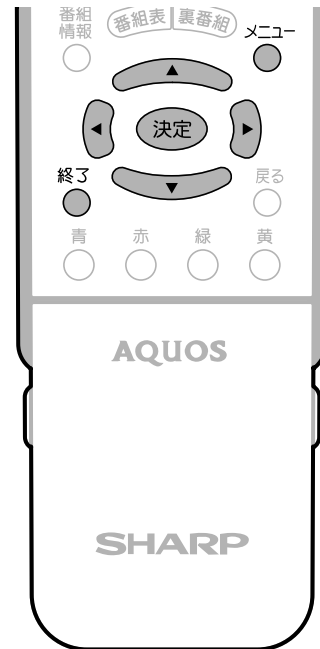
- 「電話回線設定－手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定－自動」で「テスト実行」を行ってください。(56ページ参照)

### ご注意

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

## 電話会社設定

- 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
- 通常は設定する必要はありません。

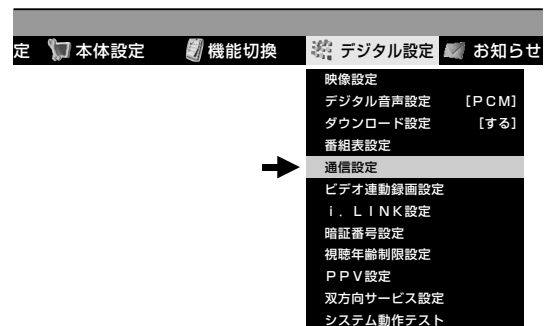


## 発信者番号通知設定

- 通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

### 操作開始

- ① メニューを押す、メニュー画面を表示する
- ② 左右で「デジタル設定」を選ぶ
- ③ 上下で「通信設定」を選び、決定を押す



次ページへ

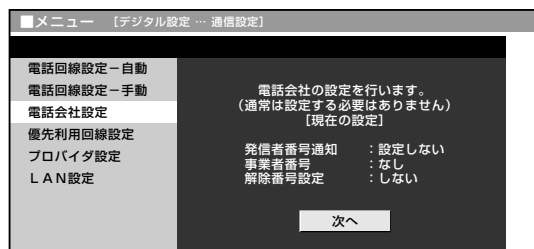
- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は




メニュー または 終了を押す、通常画面に戻す

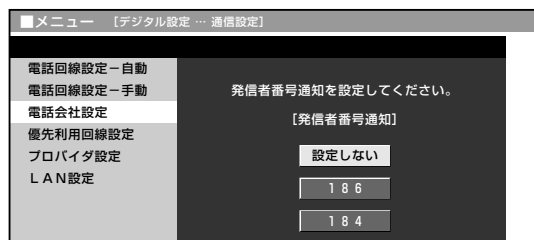
2

- ①   で「電話会社設定」を選び、 を押す
- ② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で  を押す



3

- ③   で「設定しない」  
「186」「184」のいずれかを選び、  
 を押す
- 「設定しない」……「186」「184」の、どちらにも設定しません。
- 「186」…………… 番号を通知します。
- 「184」…………… 番号を通知しません。



## 事業者番号設定

- 電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

4




- ④   で、利用している電話会社の事業者番号を選び、  
 を押す



## 解除番号設定

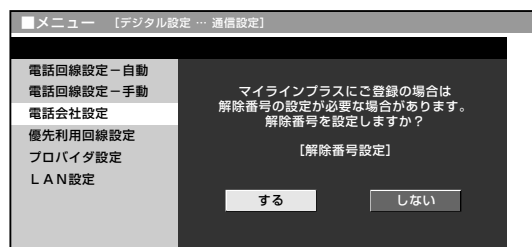
- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信することができます。


5

- ⑤   で「する」または「しない」を選び、  
 を押す

「する」…………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」…………… マイラインプラスを解除しないで、発信します。



- 1つ前に戻る場合は  を押してください。

操作終了する場合は



メニュー

または



終了

を押し、通常画面に戻す

# デジタル放送を視聴するための設定をする(つづき)

## BS/CSデジタルの チャンネルスキップ設定

■ BS/CSデジタル放送局には、テレビ／ラジオ／データと多チャンネルがありますが、選局ボタン(△順／▽逆)で選局するときに、視聴しないチャンネルをスキップするように設定することができます。



[例] BSデジタル放送のチャンネルスキップを設定する

### 操作開始

1 **BS** を押し、BSデジタル放送を選ぶ

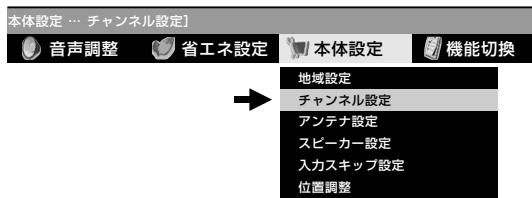
▼画面表示



2 ① **メニュー** を押し、メニュー画面を表示する

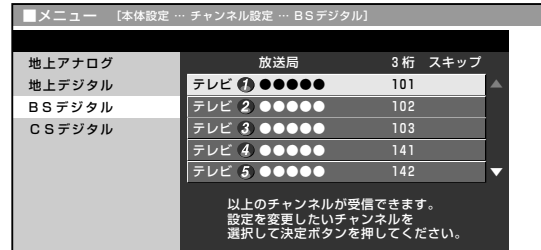
② **左右カーソル** で「本体設定」を選ぶ

③ **上下カーソル** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

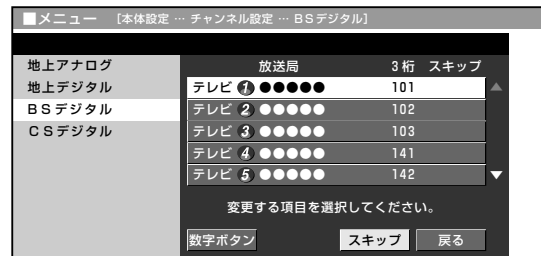


3 ① **上下カーソル** で「BSデジタル」を選び、**決定** を押す

② **上下カーソル** で、スキップ設定したい放送チャンネルを選び、**決定** を押す

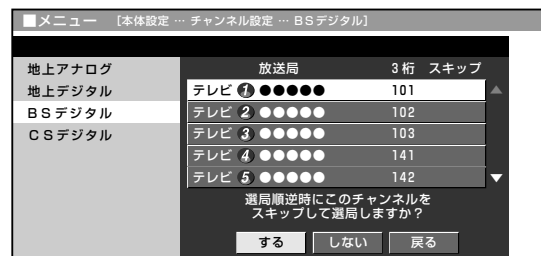


4 **左右カーソル** で「スキップ」を選び、**決定** を押す

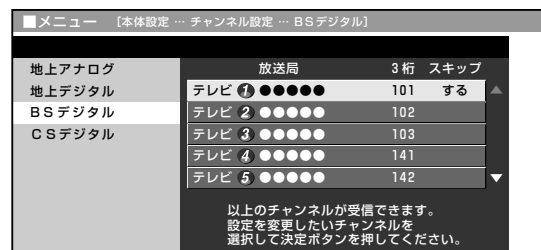


5 **左右カーソル** で「する」を選び、**決定** を押す

●スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。



6 ●放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。



●1つ前に戻る場合は**戻る**を押してください。

操作終了する場合は

**メニュー** または **終了** を押し、通常画面に戻す

# 本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

## 特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189	5,357,594	5,752,225
5,394,473	5,583,962	5,274,740	5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671
07/640,550	5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584	5,781,888	08/039,478	08/211,547
5,703,999	08/557,046	08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654	5,548,574	5,717,821

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペーパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は、米国BBE Sound, Inc.の所有する特許USP5510752及び5736897を使用しています。

BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

この製品はBBE Sound, Inc.からの実施権に基づき製造されています。

デジタル放送を視聴するための設定をする(つづき)

## 索引

### ●英数字

B-CASカード .....	42・43
CATV .....	38
DVDプレーヤーなどの接続...	23
LAN端子 .....	9

### ●あ行

アンテナ設定(BS・110度CSデジタル) .....	54
アンテナの接続 .....	18・19
枝番 .....	46・52
お好み選局／登録 .....	11

### ●か行

外部機器の接続 .....	22・23
壁掛け金具(別売品) .....	17
壁かけ設置 .....	17
乾電池の入れかた .....	12
ケーブルテレビ .....	38
コピー制御信号 .....	42

### ●さ行

受信チャンネル .....	38・41
受信微調整 .....	40・41
スタンド .....	16
スピーカー .....	13

### ●た行

端子カバーの外しかた .....	12
地域設定 .....	44
地域番号一覧表 .....	32
地域番号早見表 .....	30
地上A(放送切換)ボタン .....	27
地上アナログ放送のチャンネル設定 .....	26
地上デジタル放送のチャンネル設定 .....	46
チャンネルスキップ .....	38・41・53・60
チャンネル設定 .....	26～53
チャンネル設定に関する用語 .....	41
チャンネル選局 .....	11
チャンネル表示 .....	39・41

チャンネルボタン .....	11・27
通信設定 .....	56・58
電源コードの接続 .....	24
電源の入れかた .....	25
電源ランプ .....	25
転倒防止用部品 .....	15
電話会社設定 .....	58
電話回線設定 .....	56
電話線の接続 .....	20

### ●は行

ビデオ機器の接続 .....	22
付属品 .....	7
放送切換ボタン .....	11

### ●ま行

モジュラー分配器 .....	20
----------------	----

### ●ら行

リモコン .....	10～12
リモコン番号 .....	41

設定

索引



● 製品についてのお問合せは…

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…

**2.操作編** 192ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

# シャープ株式会社

本 社  
AVシステム事業本部

〒545-8522  
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号  
栃木県矢板市早川町174番地



★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。  
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-B864WJZZ  
05P11-JA-KM